

令和3年2月12日

# 令和2年における 特殊詐欺の状況について

警視庁特殊詐欺対策プロジェクト

# 目 次

## 1 被害状況

(1) 特殊詐欺	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 4
(3) 預貯金詐欺	・・・ 7
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 9
(5) 還付金詐欺	・・・ 11
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 15
(7) 金融商品詐欺	・・・ 16
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 17
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 18
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 18
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 19
(12) キャッシュカード等手交等に占める割合	・・・ 22
(13) 犯行予兆電話の通報状況	・・・ 22
(14) 犯行利用電話の種別	・・・ 23

## 2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 24
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 27

## 3 未然防止等の状況

(1) 未然防止状況	・・・ 28
(2) 金融機関による未然防止状況	・・・ 29
(3) 被害金調達状況	・・・ 30
(4) 金融機関における被害金調達状況	・・・ 31
(5) 金融機関窓口による阻止率	・・・ 31
(6) 未然防止の好事例	・・・ 32

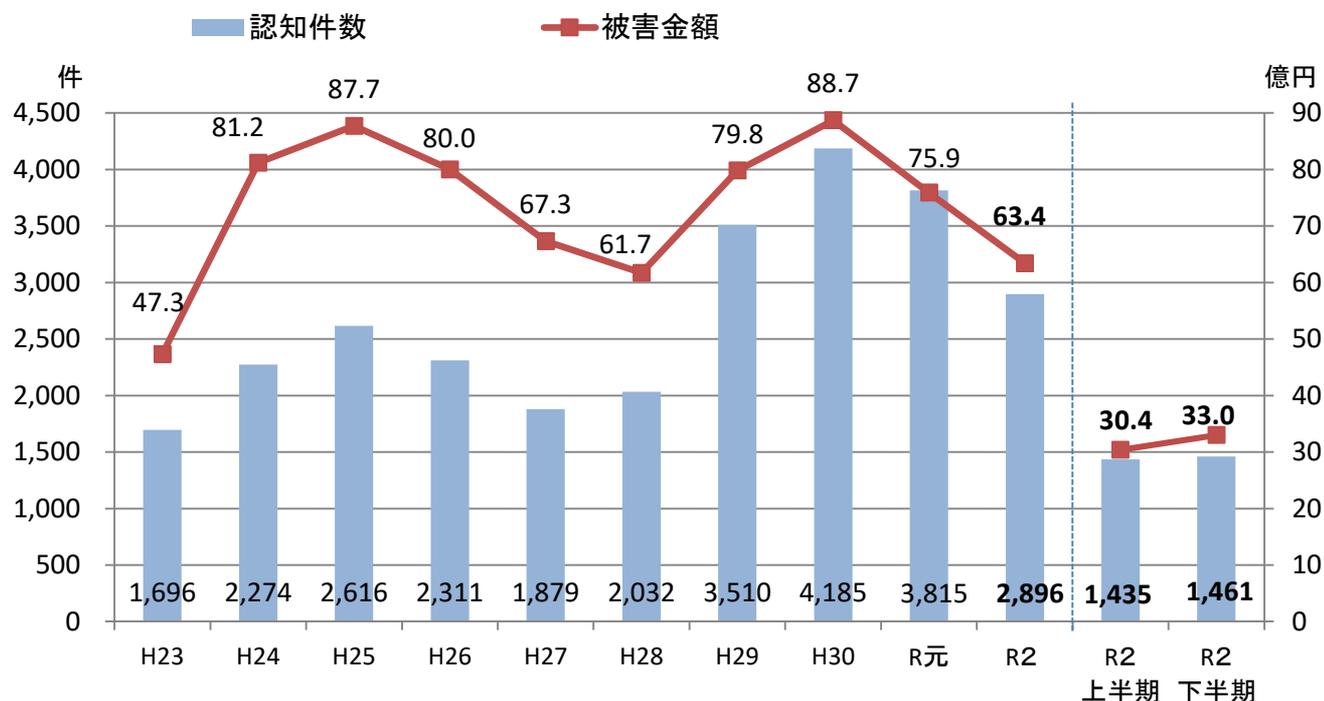
※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す。

※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝を含む。）の総称  
なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する。

# 1 被害状況

## (1) 特殊詐欺

### ア 認知状況の推移 (H23~R2)



※ H23年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

### イ R2年における認知状況

		オレオレ詐欺		預貯金詐欺		架空料金請求詐欺		還付金詐欺		融資保証金詐欺		金融商品詐欺		ギャンブル詐欺		交際あっせん詐欺		その他の特殊詐欺		キャッシュカード詐欺盗		合計	
		既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂
認知 件数	R2年	566	(513)	678	(654)	159	(158)	700	(700)	25	(25)	16	(13)	10	(10)	2	(2)	0	(0)	740	(731)	<b>2,896</b>	<b>(2,806)</b>
	R元年	500	(440)	799	(752)	326	(309)	1,178	(1,175)	32	(32)	0	(0)	6	(6)	0	(0)	0	(0)	974	(966)	3,815	(3,680)
	前年比	+66	(+73)	-121	(-98)	-167	(-151)	-478	(-475)	-7	(-7)	+16	(+13)	+4	(+4)	+2	(+2)	±0	(±0)	-234	(-235)	-919	(-874)
	増減率	+13.2%	(+16.6%)	-15.1%	(-13.0%)	-51.2%	(-48.9%)	-40.6%	(-40.4%)	-21.9%	(-21.9%)	-	-	+66.7%	(+66.7%)	-	-	-	-	-24.0%	(-24.3%)	-24.1%	(-23.8%)
被害 金額	R2年	1,930,937,685		1,185,361,444		573,477,444		1,184,719,809		50,765,434		74,787,679		30,969,726		2,810,000		0		1,307,278,692		<b>6,341,107,913</b>	
	R元年	1,878,651,437		915,390,399		1,478,034,673		1,678,832,907		62,631,125		0		34,919,000		0		0		1,537,729,292		7,586,188,833	
	前年比	+52,286,248		+269,971,045		-904,557,229		-494,113,098		-11,865,691		+74,787,679		-3,949,274		+2,810,000		±0		-230,450,600		-1,245,080,920	
	増減率	+2.8%		+29.5%		-61.2%		-29.4%		-18.9%		-		-11.3%		-		-		-15.0%		-16.4%	
R2年 平均金額(既遂)		3,764,011		1,812,479		3,629,604		1,692,457		2,030,617		5,752,898		3,096,973		1,405,000		0		1,788,343		2,259,839	

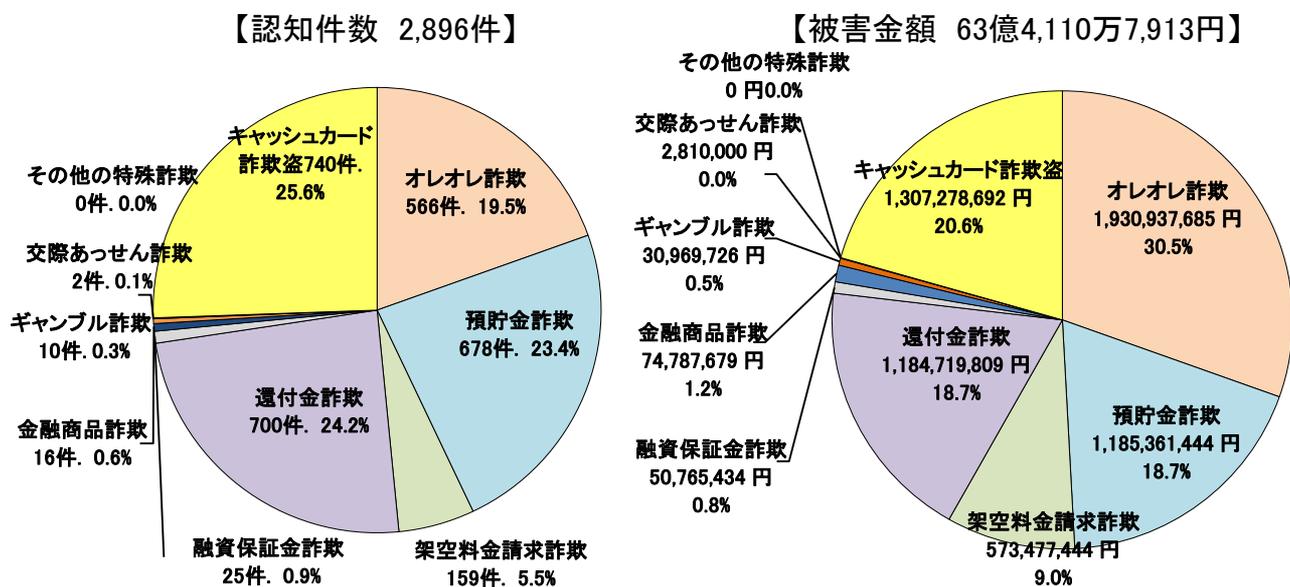
※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む（以下同じ。）。

※ R元年の「オレオレ詐欺」、「架空請求詐欺」におけるカード手交を「預貯金詐欺」に分類して前年比を算出

○ R2年の被害については、認知件数2,896件、被害金額約63億4,111万円で、前年と比べ認知件数は919件(24.1%)、被害金額は約12億4,508万円(16.4%)減少した。

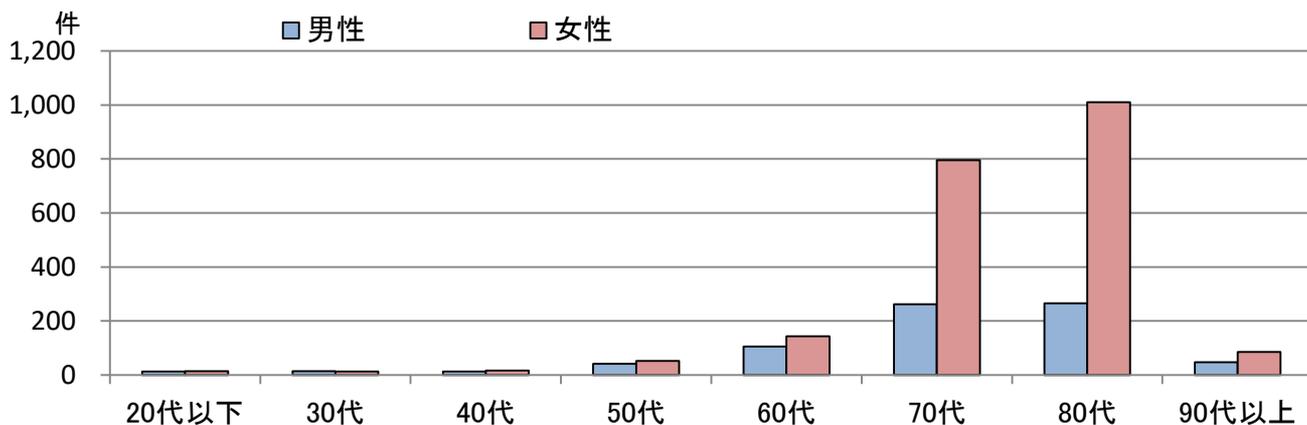
○ 前年と比べ、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺及びキャッシュカード詐欺盗が減少したが、特にオレオレ詐欺が増加している。

## ウ 類型別の認知件数及び被害金額



- 認知件数は、キャッシュカード詐欺盗が25.6%を占め、次いで還付金詐欺が24.2%、預貯金詐欺が23.4%となっている。
- 被害金額では、オレオレ詐欺が30.5%を占め、次いでキャッシュカード詐欺盗が20.6%、預貯金詐欺及び還付金詐欺が18.7%となっている。

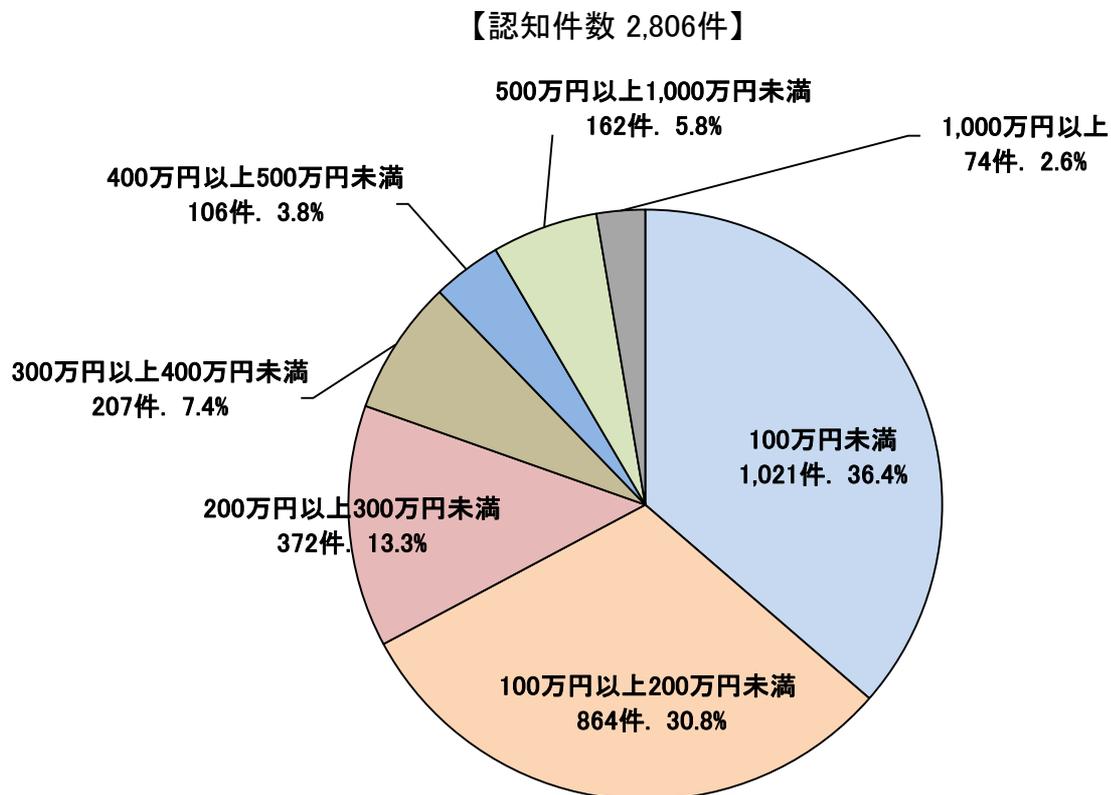
## エ 年代別・男女別の認知件数



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年	男性	13	14	13	42	106	262	266	48	764	26.4%
	割合	1.7%	1.8%	1.7%	5.5%	13.9%	34.3%	34.8%	6.3%	100.0%	
	女性	14	13	17	52	144	796	1010	86	2,132	
	割合	0.7%	0.6%	0.8%	2.4%	6.8%	37.3%	47.4%	4.0%	100.0%	
	合計	27	27	30	94	250	1,058	1,276	134	2,896	
	割合	0.9%	0.9%	1.0%	3.2%	8.6%	36.5%	44.1%	4.6%	100.0%	
	前年比	-10	-5	-36	-97	-271	-374	-155	+29	-919	
R元年	男性	16	13	25	67	176	327	303	32	959	25.1%
	割合	1.7%	1.4%	2.6%	7.0%	18.4%	34.1%	31.6%	3.3%	100.0%	
	女性	21	19	41	124	345	1,105	1,128	73	2,856	
	割合	0.7%	0.7%	1.4%	4.3%	12.1%	38.7%	39.5%	2.6%	100.0%	
	合計	37	32	66	191	521	1,432	1,431	105	3,815	
	割合	1.0%	0.8%	1.7%	5.0%	13.7%	37.5%	37.5%	2.8%	100.0%	

- 被害者の割合は、約85%(2,468人)が70代以上、男女別では、73.6%(2,132人)が女性である。

## オ 被害金額別の認知件数（未遂を除く。）



## カ 被害金等受取方法別の被害状況

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R2年	817	497	1,468	23	89	2	0	0	2,896
割合	28.2%	17.2%	50.7%	0.8%	3.1%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%
R元年	1,249	480	1,804	103	164	11	4	0	3,815
割合	32.7%	12.6%	47.3%	2.7%	4.3%	0.3%	0.1%	0.0%	100.0%

※ 電子マネー ～ 有料サイト利用料金等名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口

※ コンビニ決済 ～ コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて現金をだまし取る手口

※ ATM決済 ～ Pay-easy（ペイジー）で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM（現金自動預払機）等を利用させ、現金をだまし取る手口

○ 受取方法の割合は、カード手交が50.7%を占め、次いで、振込が28.2%となっている。

○ 現金手交及びカード手交に占める割合は、全体の67.9%を占め、特にカード手交の割合が高い。

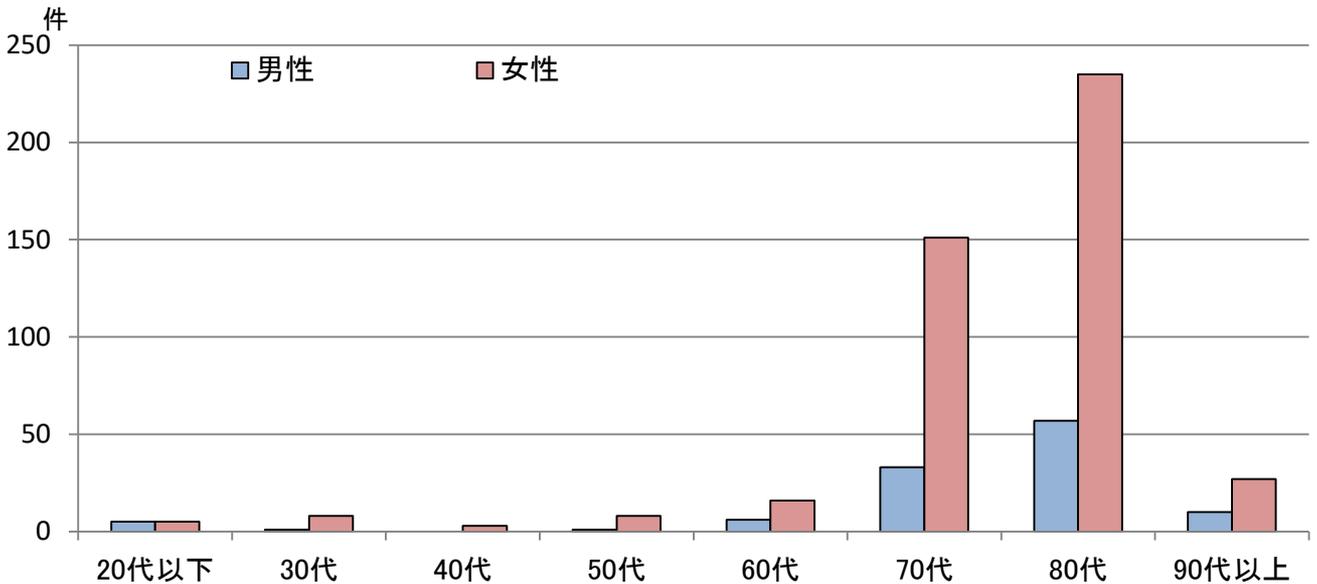
## (2) オレオレ詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
傷害事件等示談金	8	7	1	14,711,000	12	11	1	33,433,950
横領事件等示談金	22	15	7	94,701,000	39	29	10	145,508,000
痴漢事件等示談金	6	5	1	7,190,000	6	4	2	5,080,000
妊娠中絶費用等	13	11	2	59,050,000	19	16	3	109,900,000
借金等の返済	7	7	0	14,800,000	3	1	2	1,000,000
損失補填金等	369	334	35	1,159,756,800				
その他(上記以外)	141	134	7	580,728,885	421	379	42	1,583,729,487
合計	566	513	53	1,930,937,685	500	440	60	1,878,651,437
前年比	+66	+73	-7	+52,286,248				

※ R2年から「損失補填金等」を計上

### イ 年代別・男女別の認知件数

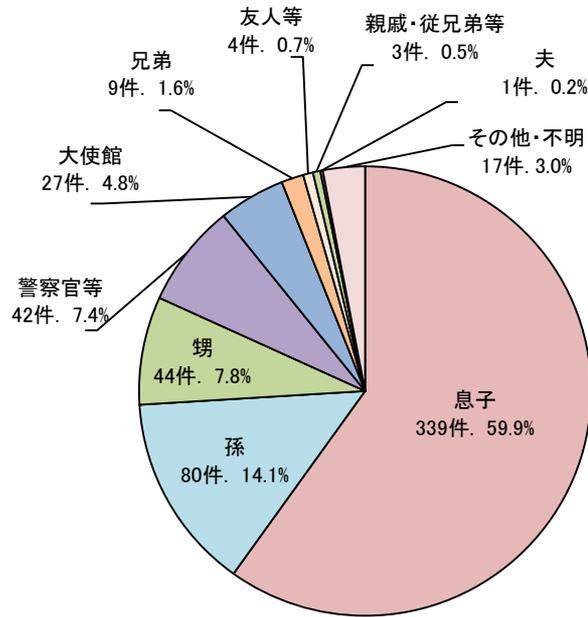


R2年	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		男性	5	1	0	1	6	33	57	10	
	割合	4.4%	0.9%	0.0%	0.9%	5.3%	29.2%	50.4%	8.8%	100.0%	
	女性	5	8	3	8	16	151	235	27	453	80.0%
	割合	1.1%	1.8%	0.7%	1.8%	3.5%	33.3%	51.9%	6.0%	100.0%	
	合計	10	9	3	9	22	184	292	37	566	
	割合	1.8%	1.6%	0.5%	1.6%	3.9%	32.5%	51.6%	6.5%	100.0%	
	前年比	+6	+5	-1	-1	+3	-1	+38	+17	+66	
	増減率	+150.0%	+125.0%	-25.0%	-10.0%	+15.8%	-0.5%	+15.0%	+85.0%	+13.2%	
R元年	男性	0	1	2	2	4	30	53	1	93	18.6%
	割合	0.0%	1.1%	2.2%	2.2%	4.3%	32.3%	57.0%	1.1%	100.0%	
	女性	4	3	2	8	15	155	201	19	407	81.4%
	割合	1.0%	0.7%	0.5%	2.0%	3.7%	38.1%	49.4%	4.7%	100.0%	
合計	4	4	4	10	19	185	254	20	500		
割合	0.8%	0.8%	0.8%	2.0%	3.8%	37.0%	50.8%	4.0%	100.0%		

○ 被害者の割合は、90.6%(513人)が70代以上、男女別では80%(453人)が女性であり、いずれも、特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.6%)と比べ、高い割合になっている。

## ウ 欺罔者(登場人物)別の認知件数

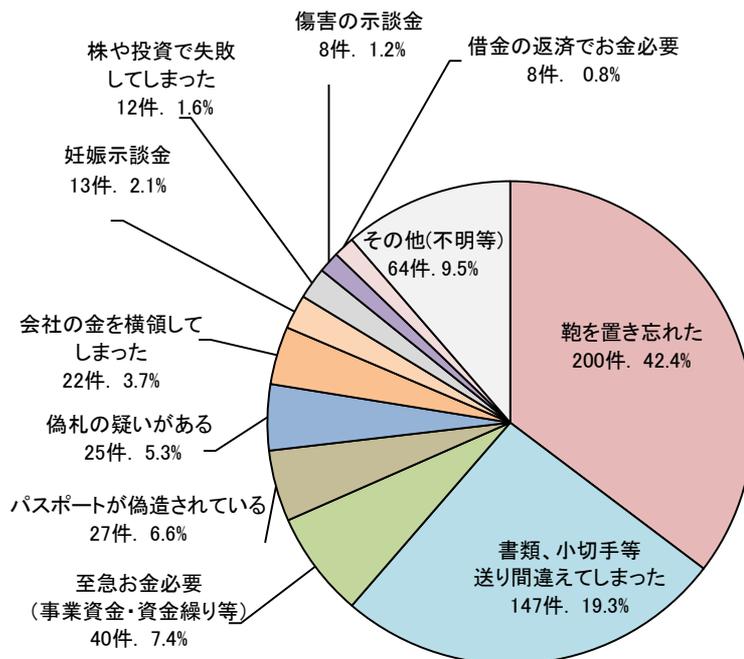
【オレオレ詐欺の認知件数 566件】



- 息子等「親族」騙りが全体の84.1%(476件)を占め、息子騙りが59.9%(339件)で最も多く、次いで孫騙りが14.1%(80件)となっている。

## エ 欺罔文言(だまし文句)別の認知件数

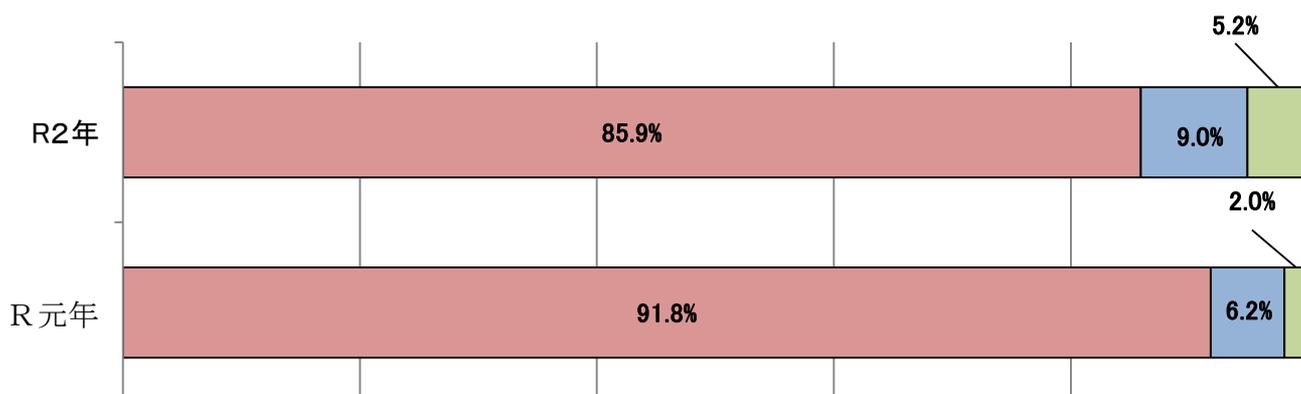
【オレオレ詐欺の認知件数 566件】



## オ 被害金等受取方法別の被害状況

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R2年	486	27	0	51	0	2	566
割合	85.9%	4.8%	0.0%	9.0%	0.0%	0.4%	100.0%
前年比	+27	+17	±0	+20	±0	+2	+66
増減率	+5.9%	+170.0%	-	+64.5%	-	-	+13.2%
R元年	459	10	0	31	0	0	500
割合	91.8%	2.0%	0.0%	6.2%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 現金手交      ■ キャッシュカード手交      ■ その他(振込及び送付含む。)



### 【オレオレ詐欺の主な手口】

#### ○ 鞆忘れ (損失補填金等)

親族等を装い、「(病院、駅、喫茶店のトイレ等)に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等と言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 会社の大事な書類又は荷物等を違う場所に送り間違える(損失補填金等)

親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などを違う場所に送り間違えてしまい、お金が必要になった。」等と言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 会社の金を横領

親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等と言い、現金等をだまし取る手口

### 【前年から継続して発生している手口】

#### ○ 『偽札』が出回っている

警察官及び家電量販店等を装い、「あなたのカードが不正に利用されています。あなたの口座も狙われています。口座から下したほうがいいですよ。どのくらい、現金をお持ちですか。〇〇銀行で『偽札』が出回っているようです。確認する必要があります。預けてください。」等と言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 『中国大使館』騙りの詐欺電話

中国大使館職員を装い、「あなたは帰国時の入国を制限されており、解除するために金が必要だ。」「男があなたのパスポートを上海で持っていた。ビザを取り消す。」等と言い、現金等をだまし取る手口

### (3) 預貯金詐欺

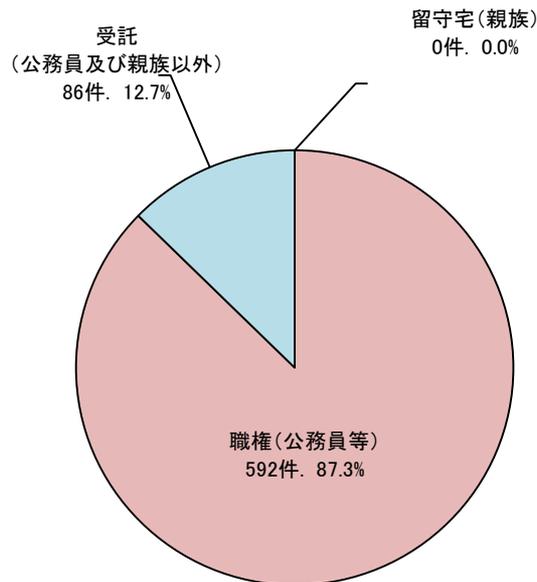
#### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権(公務員等)	592	576	16	1,082,719,010	634	595	39	729,217,753
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	86	78	8	102,642,434	165	157	8	186,172,646
合計	678	654	24	1,185,361,444	799	752	47	915,390,399
前年比	-121	-98	-23	+269,971,045				

※ R元年の「オレオレ詐欺」、「架空請求詐欺」におけるカード手交を「預貯金詐欺」に分類して前年比を算出

#### イ 手口別割合

【預貯金詐欺の認知件数 678件】



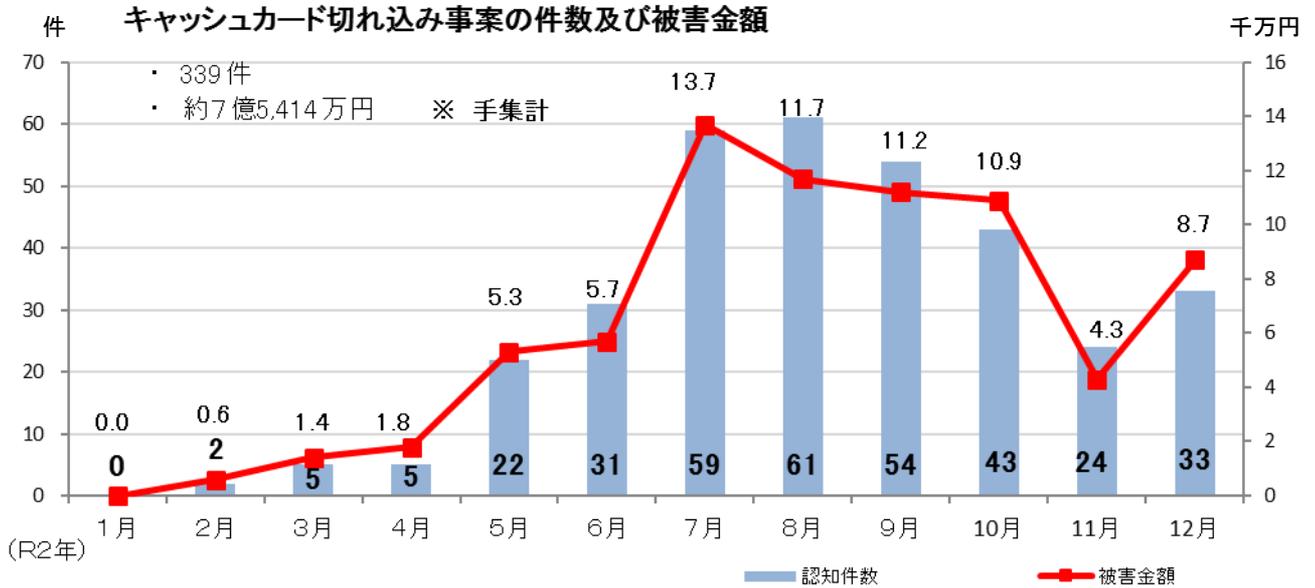
#### 【預貯金詐欺の主な手口】

- **職権(公務員等)**  
警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)などが一度でも登場して、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口
- **受託(公務員及び親族以外)**  
百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等のみで、公務員、親族などが登場せずに騙しが完結し、キャッシュカードをだまし取る手口

#### 【発生の多い手口】

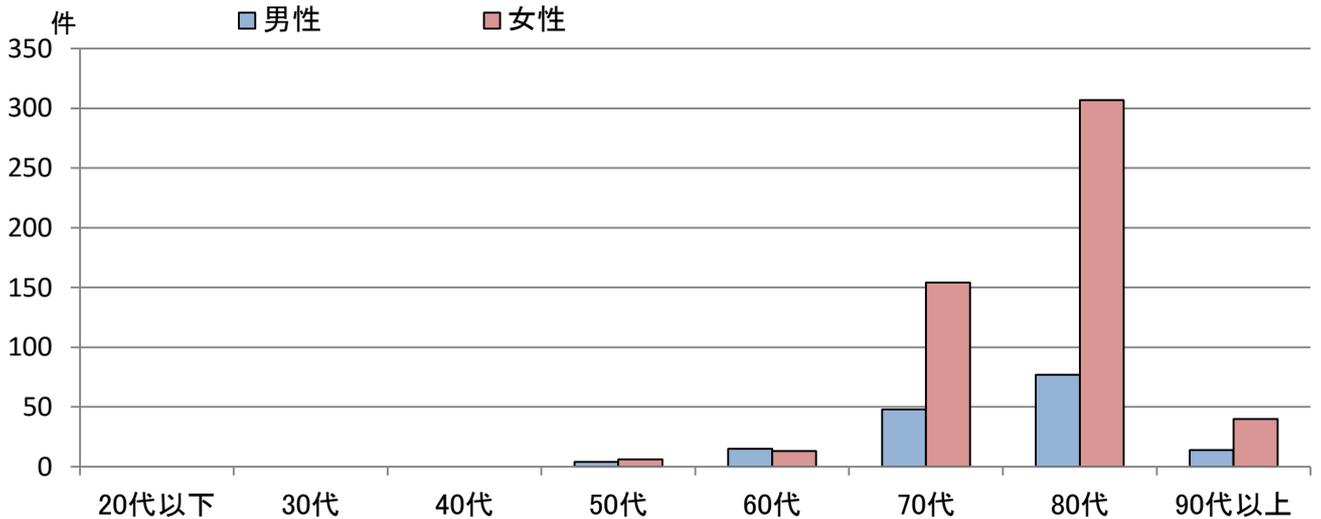
- **あなた名義のカードが犯罪に使われている**  
警察官又は大手百貨店、家電量販店を装い、「あなた名義のカードで買い物している者がいる。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるので、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等と言い、キャッシュカードやクレジットカードをだまし取る手口
- **キャッシュカード切れ込み事案**  
警察官等を騙り「キャッシュカードが不正に使用されています。」等と言い、キャッシュカードに切れ込みを入れ、もう使えなくなったと安心させて、キャッシュカードをだまし取る手口

(参考)



※ 一部、キャッシュカード詐欺盗に分類されるものもあります。

### ウ 年代別・男女別の認知件数



R2年	男性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
	割合	0	0	0	4	15	48	77	14	158	
女性	0	0	0	6	13	154	307	40	520	76.7%	
割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	9.5%	30.4%	48.7%	8.9%	100.0%		
合計	0	0	0	10	28	202	384	54	678		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	4.1%	29.8%	56.6%	8.0%	100.0%		
前年比	±0	±0	±0	+4	+21	-93	-77	+24	-121		
増減率	-	-	-	+66.7%	+300.0%	-31.5%	-16.7%	+80.0%	-15.1%		
R元年	男性	0	0	0	1	1	15	30	5	52	6.5%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	28.8%	57.7%	9.6%	100.0%	
	女性	0	0	0	5	6	280	431	25	747	93.5%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.8%	37.5%	57.7%	3.3%	100.0%	
合計	0	0	0	6	7	295	461	30	799		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.9%	36.9%	57.7%	3.8%	100.0%		

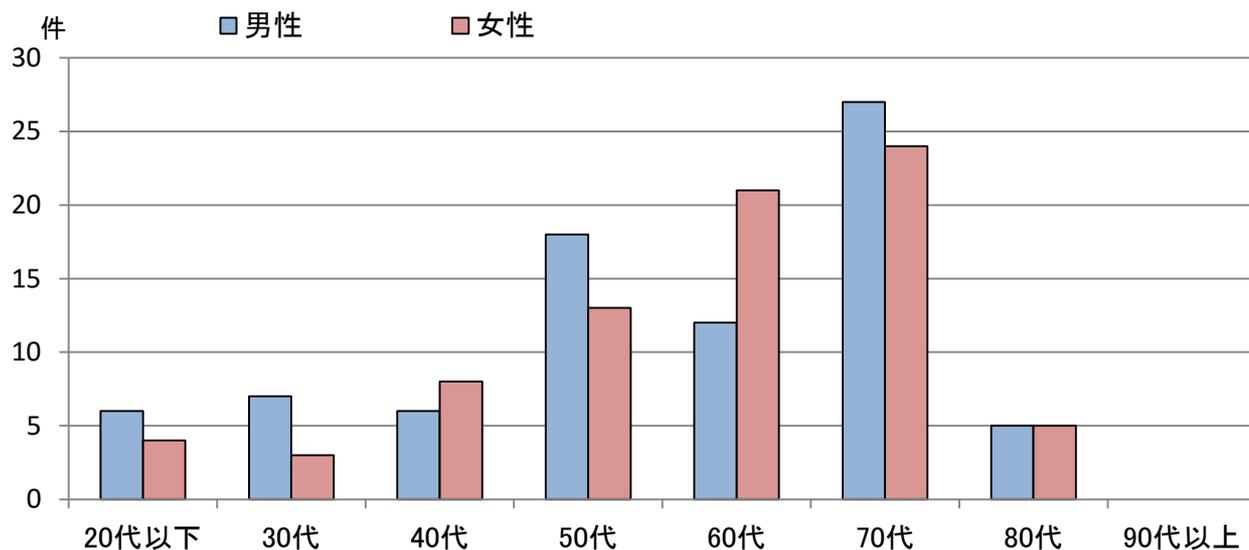
○ 被害者の割合は、94.4%(640人)が70代以上、男女別では76.7%(520人)が女性であり、いずれも、特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.6%)と比べ、高い割合になっている。

## (4) 架空料金請求詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有料サイト利用料金等	105	105	0	361,751,491	114	114	0	113,913,850
名義貸しトラブル等	2	2	0	8,200,000	0	0	0	0
情報買取抹消料金等	0	0	0	0	4	4	0	5,083,020
訴訟関係費用等	4	3	1	4,197,376	104	88	16	642,562,125
その他(上記以外)	48	48	0	199,328,577	104	103	1	716,475,678
<b>合計</b>	<b>159</b>	<b>158</b>	<b>1</b>	<b>573,477,444</b>	<b>326</b>	<b>309</b>	<b>17</b>	<b>1,478,034,673</b>
前年比	-167	-151	-16	-904,557,229				

### イ 年代別・男女別の認知件数



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年	男性	6	7	6	18	12	27	5	0	81	50.9%
	割合	7.4%	8.6%	7.4%	22.2%	14.8%	33.3%	6.2%	0.0%	100.0%	
	女性	4	3	8	13	21	24	5	0	78	
	割合	5.1%	3.8%	10.3%	16.7%	26.9%	30.8%	6.4%	0.0%	100.0%	
	合計	10	10	14	31	33	51	10	0	159	
	割合	6.3%	6.3%	8.8%	19.5%	20.8%	32.1%	6.3%	0.0%	100.0%	
R元年	前年比	-16	-11	-12	-33	-42	-33	-18	-2	-167	
	増減率	-61.5%	-52.4%	-46.2%	-51.6%	-56.0%	-39.3%	-64.3%	-100.0%	-51.2%	
	男性	12	8	11	27	27	28	10	0	123	37.7%
	割合	9.8%	6.5%	8.9%	22.0%	22.0%	22.8%	8.1%	0.0%	100.0%	
	女性	14	13	15	37	48	56	18	2	203	
	割合	6.9%	6.4%	7.4%	18.2%	23.6%	27.6%	8.9%	1.0%	100.0%	
合計	26	21	26	64	75	84	28	2	326		
割合	8.0%	6.4%	8.0%	19.6%	23.0%	25.8%	8.6%	0.6%	100.0%		

○ 男女を問わず各年代で被害が発生している。

## ウ 被害金等受取方法別の被害状況

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R2年	86	2	51	19	0	0	1	1	0	159
割合	54.1%	1.3%	32.1%	11.9%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	100.6%
前年比	-76	-19	+17	-73	-2	±0	-10	-3	±0	-167
増減率	-46.9%	-90.5%	+50.0%	-79.3%	-100.0%	-	-90.9%	-75.0%	-	-51.2%
R元年	162	21	34	92	2	0	11	4	0	326
割合	49.7%	6.4%	10.4%	28.2%	0.6%	0.0%	3.4%	1.2%	0.0%	100.0%

- 電子マネーが54.1%(86件)と最も多く、次いで現金振込が32.1%(51件)となっている。

### 【架空料金請求詐欺の主な手口】

#### ○ 有料サイト利用料金等名目

メール等で有料サイトの利用料金等が未納であると伝え、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等と言い、現金等をだまし取る手口

### 【新たに発生している手口】

#### ○ 『NTTファイナンス』騙りの詐欺電話

メール等で「NTTファイナンスお客様サポートセンター」を名乗り、「ご利用料金の確認がとれておりません」というSMSが送信され、指定された電話番号に電話すると、「お金を納めないと裁判所に提出されます。裁判をやめたければ本日中に納めてください。日本個人データ保護協会に申請を出せば支払ったお金の95%が返金されます。コンビニに行って電子マネーを購入してください。」等と言い、現金等をだまし取る手口

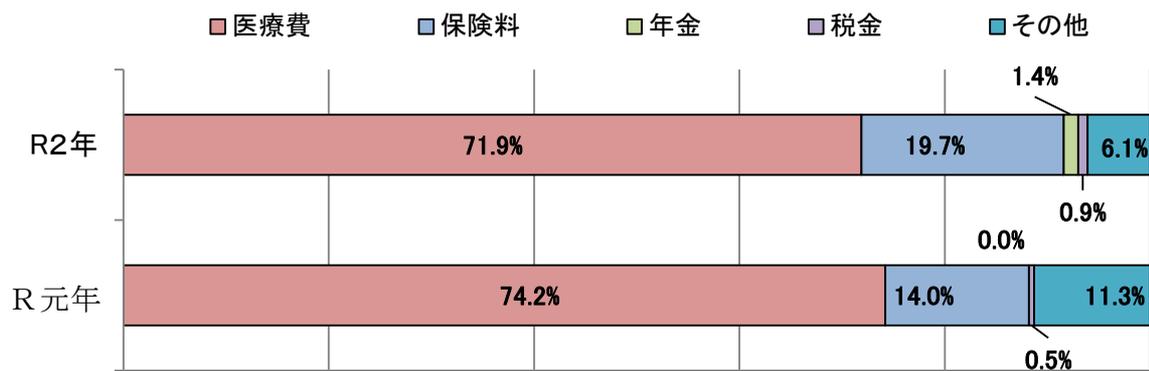
## (5) 還付金詐欺

### ア 手口別認知件数

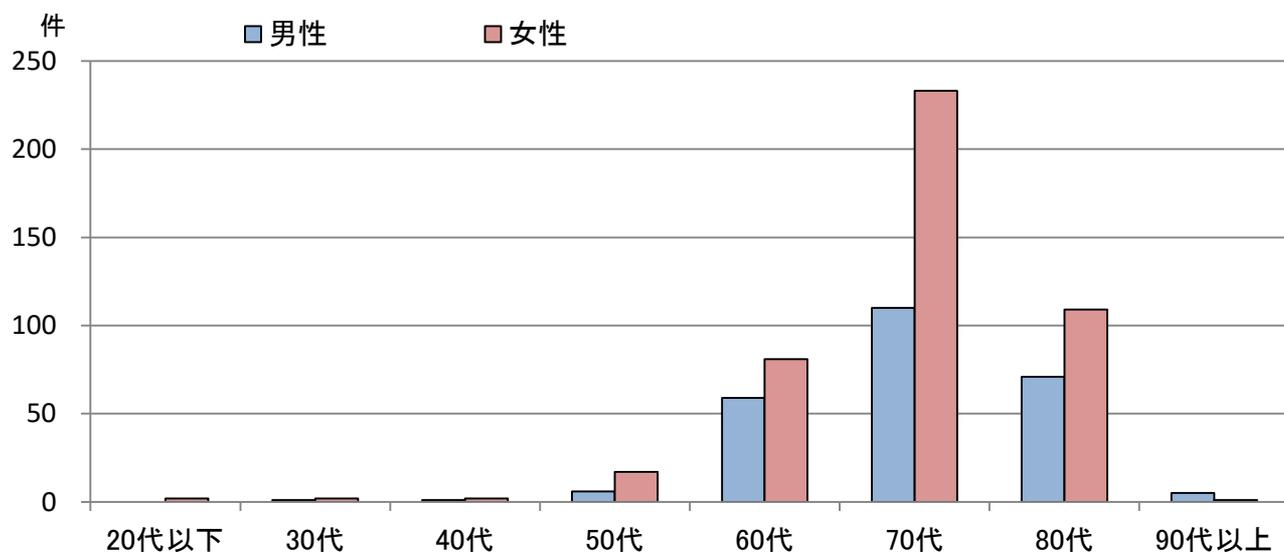
	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
医療費	503	503	0	863,649,047	874	873	1	1,283,204,762
健康保険・社会保険等	138	138	0	213,031,407	165	164	1	210,144,308
年金	10	10	0	11,703,790	0	0	0	0
税金	6	6	0	7,497,530	6	6	0	12,119,158
その他(上記以外)	43	43	0	88,838,035	133	132	1	173,364,679
合計	700	700	0	1,184,719,809	1,178	1,175	3	1,678,832,907
前年比	-478	-475	-3	-494,113,098				

### イ 手口別割合

	医療費	保険料	年金	税金	その他	合計
R2年	503	138	10	6	43	700
割合	71.9%	19.7%	1.4%	0.9%	6.1%	100.0%
R元年	874	165	0	6	133	1,178
割合	74.2%	14.0%	0.0%	0.5%	11.3%	100.0%



### ウ 年代別・男女別の認知件数



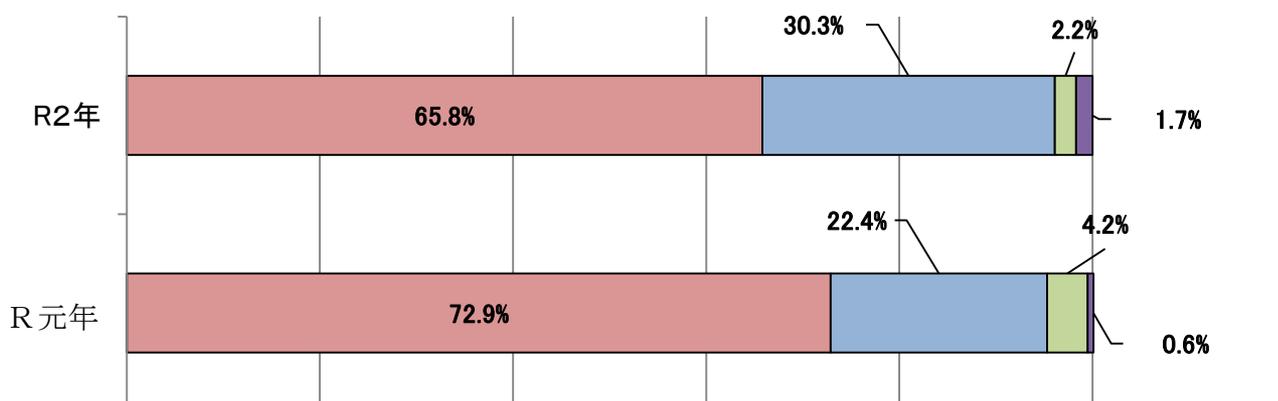
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年	男性	0	1	1	6	59	110	71	5	253	36.1%
	割合	0.0%	0.4%	0.4%	2.4%	23.3%	43.5%	28.1%	2.0%	100.0%	
	女性	2	2	2	17	81	233	109	1	447	63.9%
	割合	0.4%	0.4%	0.4%	3.8%	18.1%	52.1%	24.4%	0.2%	100.0%	
	合計	2	3	3	23	140	343	180	6	700	
	割合	0.3%	0.4%	0.4%	3.3%	20.0%	49.0%	25.7%	0.9%	100.0%	
前年比	+1	-2	-22	-61	-210	-166	-16	-2	-478		
増減率	+100.0%	-40.0%	-88.0%	-72.6%	-60.0%	-32.6%	-8.2%	-25.0%	-40.6%		
R元年	男性	1	2	4	20	115	179	82	5	408	34.6%
	割合	0.2%	0.5%	1.0%	4.9%	28.2%	43.9%	20.1%	1.2%	100.0%	
	女性	0	3	21	64	235	330	114	3	770	65.4%
	割合	0.0%	0.4%	2.7%	8.3%	30.5%	42.9%	14.8%	0.4%	100.0%	
	合計	1	5	25	84	350	509	196	8	1,178	
	割合	0.1%	0.4%	2.1%	7.1%	29.7%	43.2%	16.6%	0.7%	100.0%	

○ 被害者の割合は、75.6%(529人)は70代以上、男女別では63.9%(447人)が女性を占めており、いずれも、特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.6%)と比べ、割合は低くなっている。

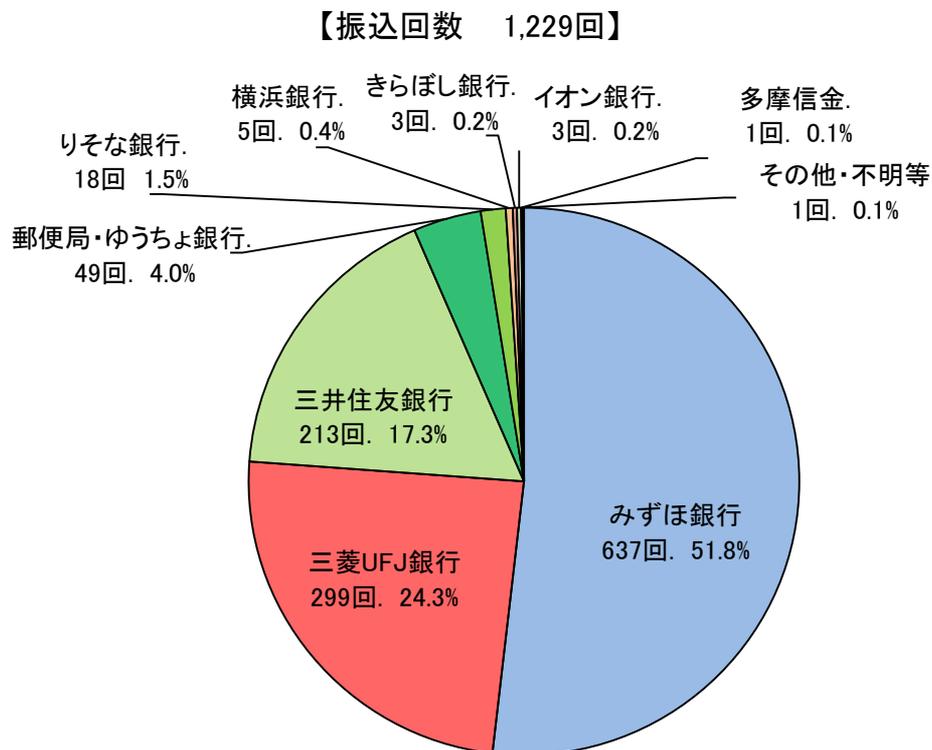
## エ 場所別の振込回数

	金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	その他 不明	合計
R2年	1,229	567	41	32	1,869
割合	65.8%	30.3%	2.2%	1.7%	100.0%
R元年	2,115	651	121	16	2,903
割合	72.9%	22.4%	4.2%	0.6%	100.0%

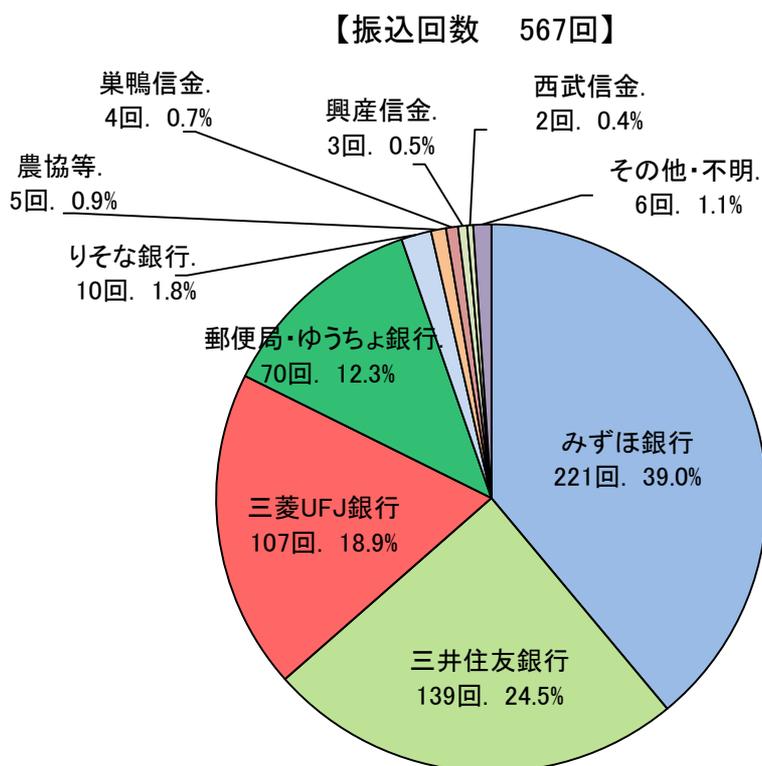
■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■その他・不明



## 場所別の振込回数【無人ATMの金融機関別】



## 場所別の振込回数【店舗内ATMの金融機関別】



## オ 被害者利用口座

### 被害者利用口座(金融機関別)の件数・回数

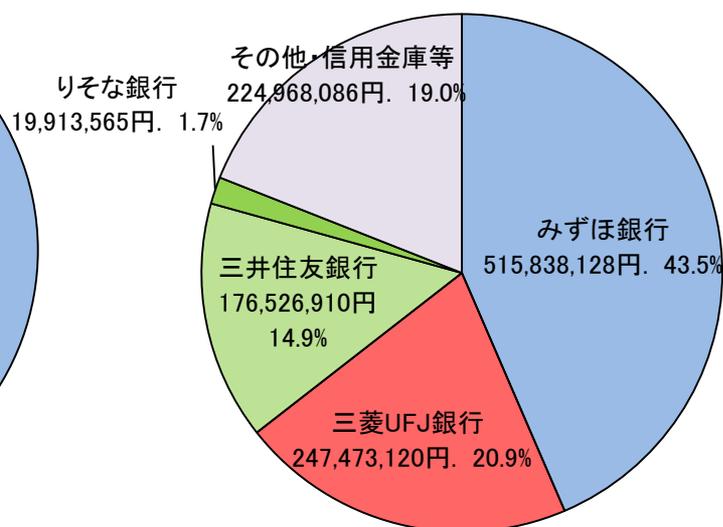
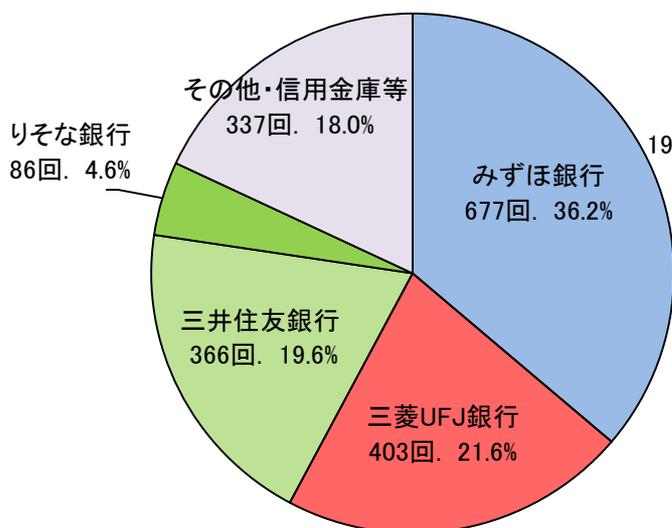
	みずほ銀行		三菱UFJ銀行		三井住友銀行		りそな銀行		その他金融機関		合計	
	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数
R2年	287	677	175	403	103	366	9	86	126	337	700	1,869
割合	41.0%	36.2%	25.0%	21.6%	14.7%	19.6%	1.3%	4.6%	18.0%	18.0%	100.0%	100.0%
R元年	321	792	279	664	172	480	32	132	374	835	1,178	2,903
割合	27.2%	27.3%	23.7%	22.9%	14.6%	16.5%	2.7%	4.5%	31.7%	28.8%	100.0%	100.0%

### 被害者利用口座(金融機関別)の振込被害額

	みずほ銀行	三菱UFJ銀行	三井住友銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
	R2年	515,838,128	247,473,120	176,526,910	19,913,565	224,968,086
割合	43.5%	20.9%	14.9%	1.7%	19.0%	100.0%
R元年	547,802,848	384,009,030	220,586,147	50,673,231	475,761,651	1,678,832,907
割合	32.6%	22.9%	13.1%	3.0%	28.3%	100.0%

【振込回数 1,869回】

【振込被害金額 11億8,471万9,809円】



## (6) 融資保証金詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
融資保証金	25	25	0	50,765,434	32	32	0	62,631,125
合計	25	25	0	50,765,434	32	32	0	62,631,125
前年比	-7	-7	±0	-11,865,691				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R2年	男性	1	4	3	6	2	0	3	0	19
割合	5.3%		21.1%	15.8%	31.6%	10.5%	0.0%	15.8%	0.0%	100.0%		
女性	3		0	1	2	0	0	0	0	6	24.0%	
割合	50.0%		0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
合計	4		4	4	8	2	0	3	0	25		
割合	16.0%		16.0%	16.0%	32.0%	8.0%	0.0%	12.0%	0.0%	100.0%		
前年比	-1		+2	-5	+3	-3	-6	+3	±0	-7		
増減率	-20.0%	+100.0%	-55.6%	+60.0%	-60.0%	-100.0%	-	-	-21.9%			
R元年	男性	2	2	7	4	4	5	0	0	24		75.0%
	割合	8.3%	8.3%	29.2%	16.7%	16.7%	20.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
	女性	3	0	2	1	1	1	0	0	8	25.0%	
	割合	37.5%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%		
	合計	5	2	9	5	5	6	0	0	32		
	割合	15.6%	6.3%	28.1%	15.6%	15.6%	18.8%	0.0%	0.0%	100.0%		

#### 【融資保証金詐欺の主な手口】

##### ○ 融資保証金

実際には融資をしないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で現金等をだまし取る(脅し取る)手口

※ 被害者宅事務所に、「融資手続きのため、手数料や担保金を振り込む必要がある。日付をまたいでの振込では手続きができない。今まで振り込んだ費用については返金する。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から現金等をだまし取るもの

## (7) 金融商品詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有価証券等	13	11	2	65,387,679	0	0	0	0
外国通貨	0	0	0	0	0	0	0	0
物品	2	1	1	2,500,000	0	0	0	0
その他(上記以外)	1	1	0	6,900,000	0	0	0	0
合計	16	13	3	74,787,679	0	0	0	0
前年比	+16	+13	+3	+74,787,679				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R2年	男性	0	0	0	1	0	4	0	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
女性	0		0	0	0	3	6	2	0	11	68.8%
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%	100.0%	
合計	0		0	0	1	3	10	2	0	16	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	6.3%	18.8%	62.5%	12.5%	0.0%	100.0%	
前年比	±0	±0	±0	+1	+3	+10	+2	±0	+16		
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R元年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

#### 【金融商品詐欺の主な手口】

##### ○ 有価証券等

手形、小切手、株券、社債券等の有価証券等取引の名目で現金等をだまし取る手口

※ 被害者宅の固定電話に架電し、会社員を名乗り、「金融庁の監査が入って、あなたに名義貸しの疑いがかけてられています。回避するには、貯蓄債権を購入してもらえば、名義貸しがなかったこととなります。」等と欺き、債権購入を促し、現金等をだまし取るもの

## (8) ギャンブル詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
パチンコ必勝法等	2	2	0	2,975,000	0	0	0	0
競馬必勝法等	7	7	0	14,264,726	4	4	0	15,669,000
宝くじ当選情報等	1	1	0	13,730,000	2	2	0	19,250,000
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	10	0	30,969,726	6	6	0	34,919,000
前年比	+4	+4	±0	-3,949,274				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年	男性	1	1	0	1	3	2	0	0	8	80.0%
	割合	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	1	0	1	0	0	2	20.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	1	1	0	2	3	3	0	0	10	
	割合	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	±0	+1	±0	+2	+2	±0	-1	±0	+4	
増減率	±0.0%	-	-	-	+200.0%	±0.0%	-100.0%	-	+66.7%		
R元年	男性	1	0	0	0	0	2	1	0	4	66.7%
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	1	1	0	0	2	33.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	1	0	0	0	1	3	1	0	6		
割合	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%		

#### 【ギャンブル詐欺の主な手口】

##### ○ 競馬必勝法等

競馬、競輪、競艇等の必勝法情報購入等を名目に現金等をだまし取る手口

※ 被害者の携帯電話に「競馬必勝法。仕組まれたレースでの決着となっていて、あらかじめ着順が決まっています。まずは、配当の2割を振り込んでいただき、残りの8割を後日振り込みます。」等のメールを送信し、被害者が興味を持って、犯人の指定した口座に現金等を振り込ませ、だまし取るもの

## (9) 交際あっせん詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
交際あっせん	2	2	0	2,810,000	0	0	0	0
合計	2	2	0	2,810,000	0	0	0	0
前年比	+2	+2	±0	+2,810,000				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R2年	男性	0	0	1	0	0	1	0		0
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0%		
	合計	0	0	1	0	0	1	0	0	2		
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	前年比	±0	±0	+1	±0	±0	+1	±0	±0	+2		
	増減率	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
R元年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

#### 【交際あっせん詐欺の主な手口】

##### ○ 交際あっせん

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

※ 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た男が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

## (10) その他の特殊詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	±0				

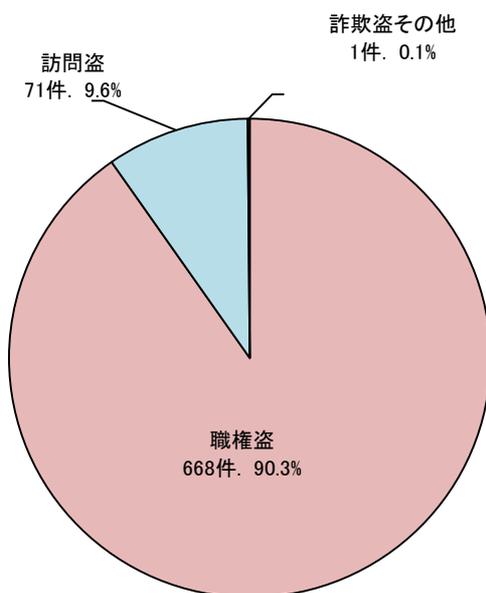
# (11) キャッシュカード詐欺盗

## ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年			認知件数	R元年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権盗	668	659	9	1,196,603,582	907	900	7	1,437,493,760
訪問盗	71	71	0	108,675,110	63	62	1	96,535,532
詐欺盗その他	1	1	0	2,000,000	4	4	0	3,700,000
合計	740	731	9	1,307,278,692	974	966	8	1,537,729,292
前年比	-234	-235	+1	-230,450,600				

## イ 手口別割合

【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 740件】



- ※ 職権盗 ～ 警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者（水道局、電気会社、ガス会社等）などが一度でも登場して、カードの交換などの名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- ※ 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会などのみで、公務員、親族などが登場せずに騙しが完結し、キャッシュカードを窃取するもの

### 【キャッシュカード詐欺盗の主な手口】

#### ○ キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る

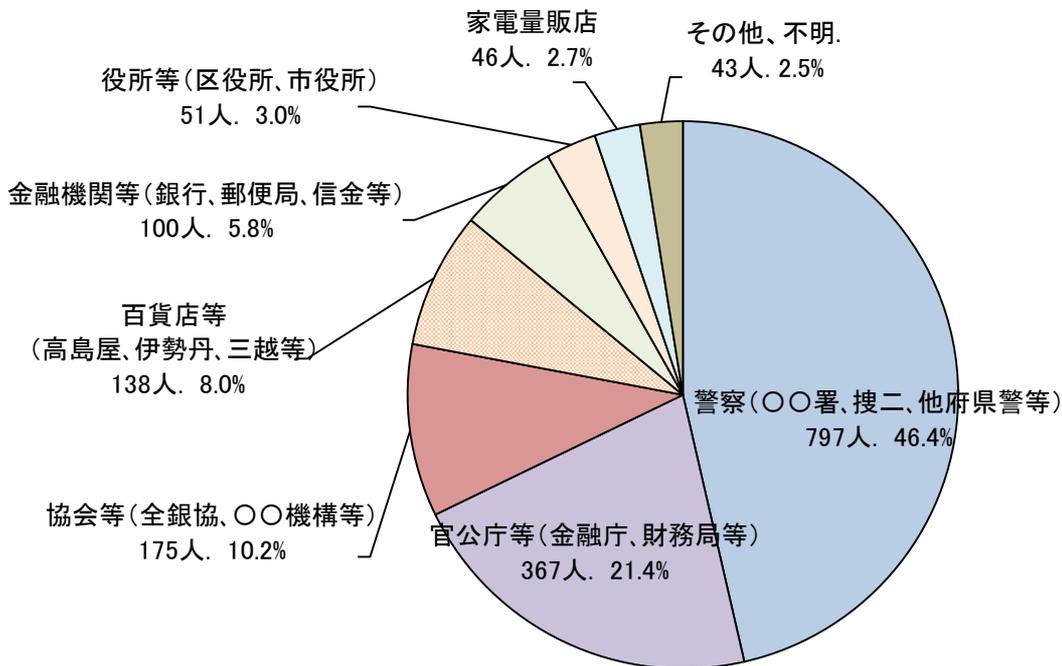
警察官又は大手百貨店、金融庁職員等を装い、「あなた名義のカードで買い物をしている者がいます。あなたのカードが悪用されています。カードを確認する必要があります。」等と言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

※ 被疑者は警察官等を装い、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑はありますか？印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向ける。

その後、被害者が印鑑を取りに行った隙に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

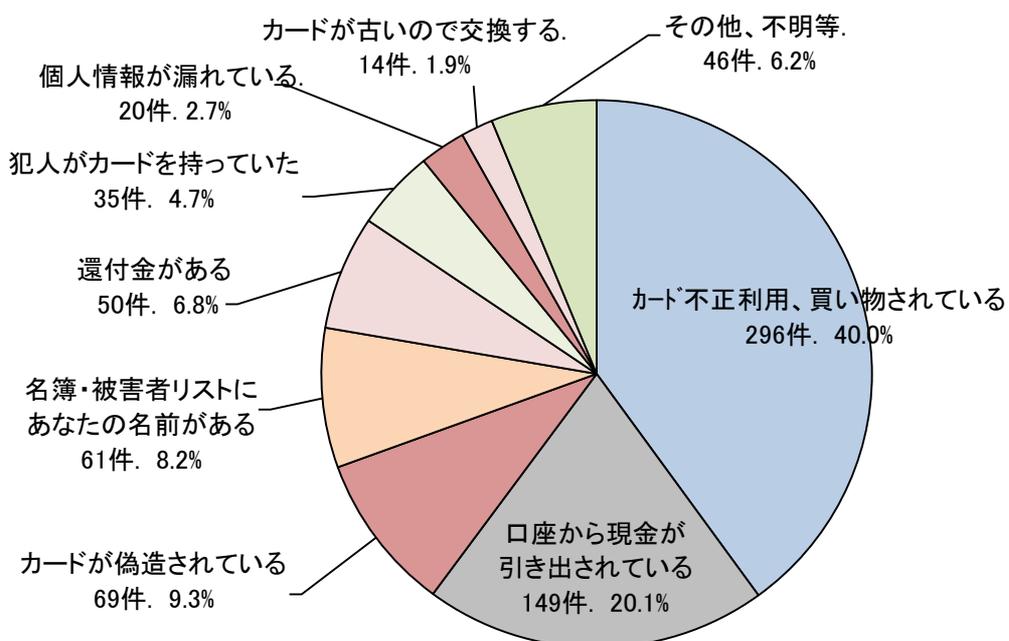
## ウ 欺罔者(登場人物)別の認知件数

【認知件数 740件・欺罔者(登場人物) 1,717人】

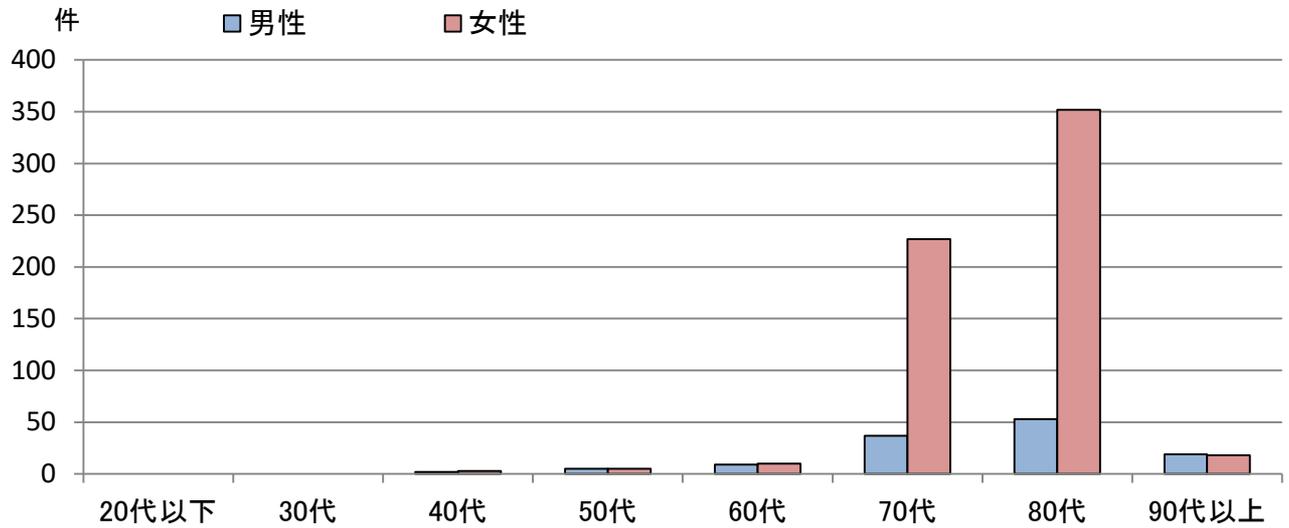


## エ 欺罔文言(だまし文句)別の認知件数

【認知件数 740件】



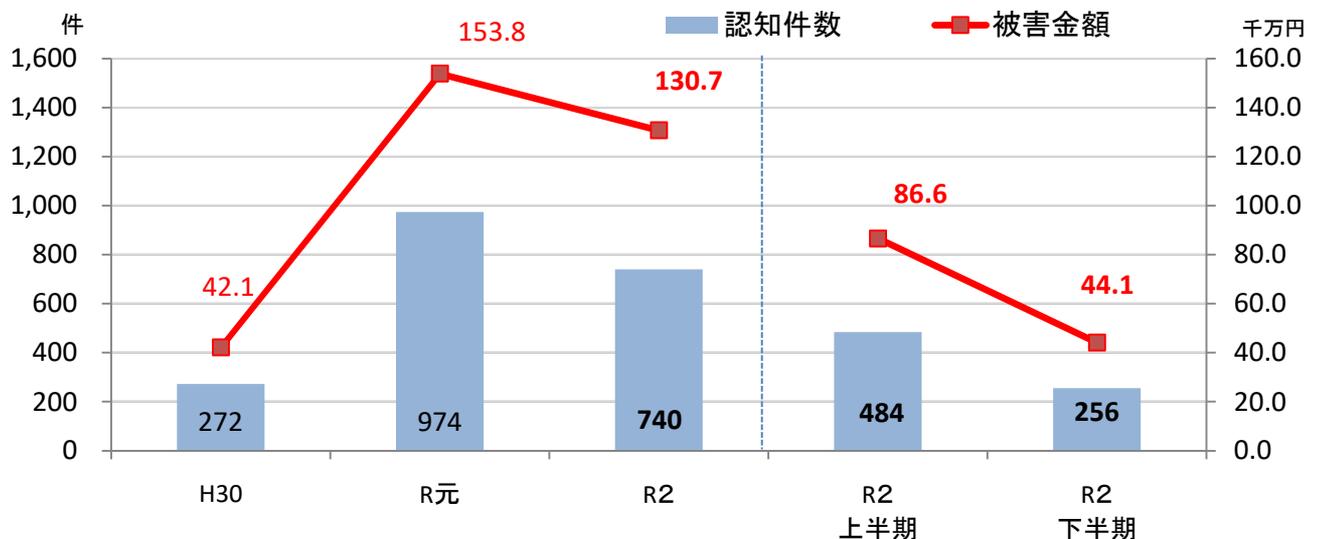
## 才 年代別・男女別の認知件数



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
R2年	男性	0	0	2	5	9	37	53	19	125	16.9%	
	割合	0.0%	0.0%	1.6%	4.0%	7.2%	29.6%	42.4%	15.2%	100.0%		
	女性	0	0	3	5	10	227	352	18	615		83.1%
	割合	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%	1.6%	36.9%	57.2%	2.9%	100.0%		
	合計	0	0	5	10	19	264	405	37	740		
	割合	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%	2.6%	35.7%	54.7%	5.0%	100.0%		
前年比	±0	±0	+3	-12	-45	-86	-86	-8	-234			
増減率	-	-	+150.0%	-54.5%	-70.3%	-24.6%	-17.5%	-17.8%	-24.0%			
R元年	男性	0	0	1	13	25	68	127	21	255	26.2%	
	割合	0.0%	0.0%	0.4%	5.1%	9.8%	26.7%	49.8%	8.2%	100.0%		
	女性	0	0	1	9	39	282	364	24	719	73.8%	
	割合	0.0%	0.0%	0.1%	1.3%	5.4%	39.2%	50.6%	3.3%	100.0%		
合計	0	0	2	22	64	350	491	45	974			
割合	0.0%	0.0%	0.2%	2.3%	6.6%	35.9%	50.4%	4.6%	100.0%			

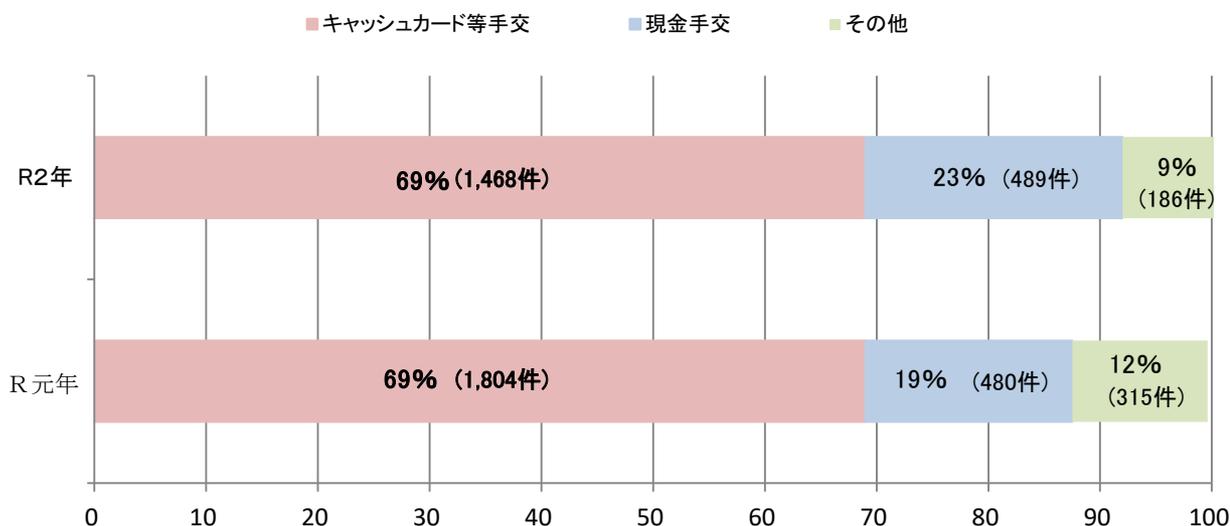
○ 被害者の割合は、95.4%(706人)が70代以上、男女別では、83.1%(615人)が女性であり、いずれも特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.6%)と比べ、高い割合になっている。

## カ 認知件数及び被害金額の推移 (過去2年)



○ 前年と比べ、認知件数は24%(234件)、被害金額は15%(約2億3,045万円)減少している。

## (12) キャッシュカード等手交等に占める割合

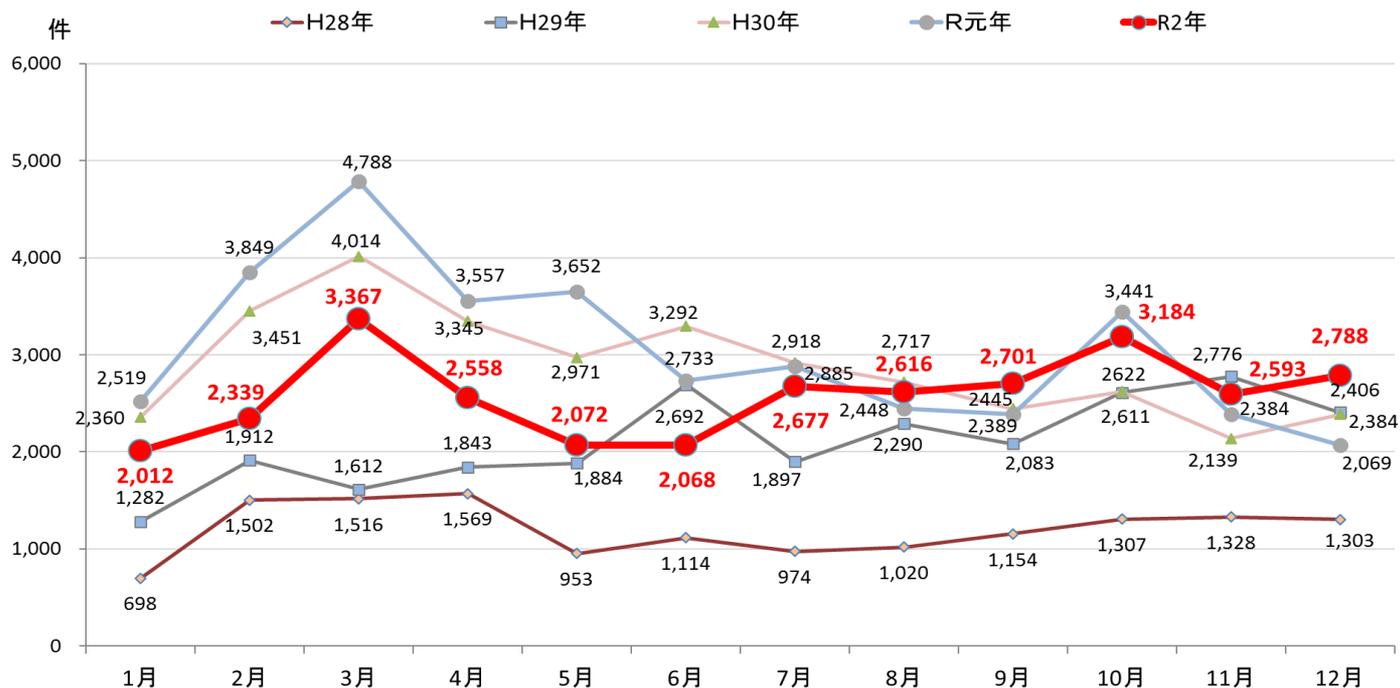


※ R2年のグラフの数値は、「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「架空料金請求詐欺」、「キャッシュカード詐欺盗」の合計を示す。

※ 「その他」は、「振込」、「送付」、「電子マネー」、「コンビニ決済」等を示す。

## (13) 犯行予兆電話の通報状況

【犯行予兆電話通報件数(H28年～R2年)】



R2年	3万 975件	(前年比 -5,739件)
R元年	3万6,714件	(前年比 +2,056件)
H30年	3万4,658件	(前年比 +9,370件)
H29年	2万5,288件	(前年比 +1万850件)
H28年	1万4,438件	

- R2年における新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺は、被害が2件発生し、153件の犯行予兆電話を把握している。

### 【被害認知 2件】

#### （被害者） 荒川区在住 70代女性

4月23日(木)午後4時ころ、被害者宅の固定電話に兄を名乗る男から、「OBとやっているコロナ関連事業の打合せがあって、その打合せをしていた喫茶店で、トイレに入った際に財布と書類が入った鞆を盗まれた。自分も用立てなければならない。」等の内容の電話があり、複数回にわたり、現金合計1,420万円をだまし取られたもの

#### （被害者） 品川区在住 70代女性

10月7日(水)午後9時ころ、被害者宅の固定電話に息子を名乗る男から、「病院がコロナの患者数をごまかしている事の情報公表しない代わりに、病院からお金を受け取ってしまった。上司と話をして、病院側にお金を返さなければならなくなり、現金が必要になった。」等の内容の電話があり、複数回にわたり、現金合計1,400万円をだまし取られたもの

### 【主な犯行予兆電話の事例】

#### （被害者） 豊島区在住 40代男性

3月7日(土)午後4時ころ、被害者宅の固定電話に、池袋労働局を騙る男から、「コロナ対策で助成金が出ています。昨日までなので、今日の午後5時までに口座の登録をしてください。マスクも送付します。」等の内容の電話があり、被害者は無人ATMまで誘導されたが、ATMの操作方法が分からず立ち往生していたところ、警戒中の警察官が未然防止したもの

#### （被害者） 町田市在住 80代女性

3月22日(日)午後1時20分ころ、被害者宅の固定電話に、保険課を名乗る男から、「コロナの検査キットを送ったはずなんです、届いていませんか。」等の内容の電話があり、被害者は、詐欺の電話に間違いのないと思ひ電話を切ったもの

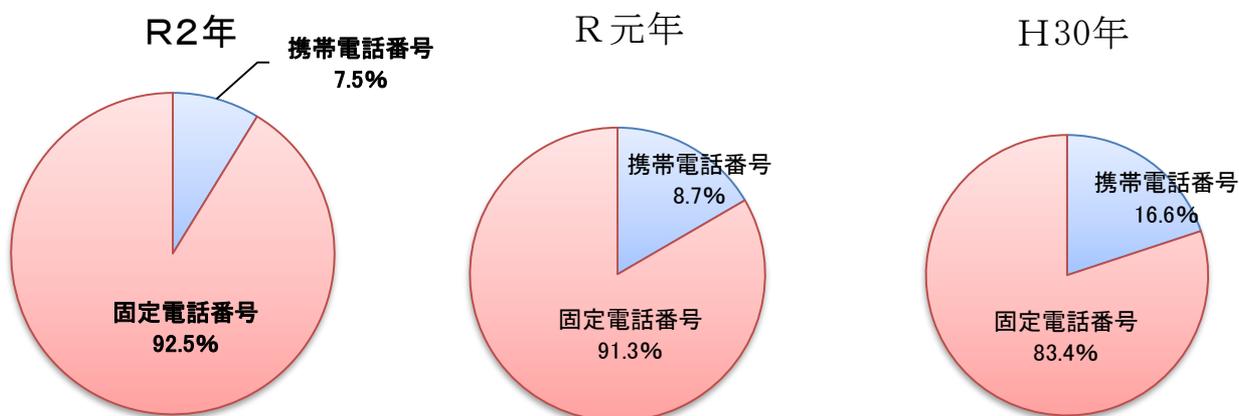
#### （被害者） あきる野市在住 50代男性

4月8日(水)午後4時45分ころ、被害者宅の固定電話に、女の声で自動音声ガイダンスが流れ、「コロナウイルスの流行で給付金があります。案内に従ってください。」等の内容の電話が一方的にあったものであるが、被害者は、詐欺の電話に間違いのないと思ひ電話を切ったもの

#### （被害者） 世田谷区在住 60代男性

11月4日(水)午前9時50分ころ、被害者宅の固定電話に、世田谷区役所を騙る男から、「インフルエンザ予防接種の用紙届いていますか。その中にコロナ給付金3万円分の還付金申込用紙が入っていましたが手続きしましたか。」等の内容の電話があり、被害者は、詐欺の電話に間違いのないと思ひ電話を切ったもの

## (14) 犯行利用電話の種別

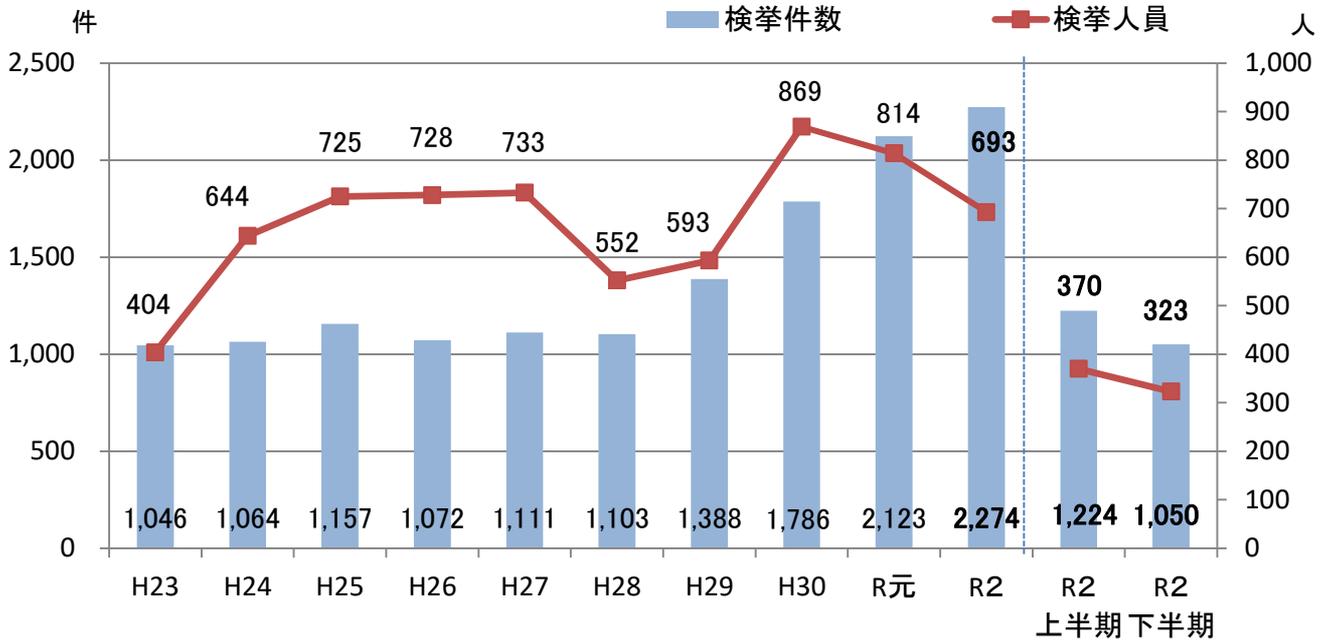


※ 固定電話番号とは、犯人が使用している固定電話や携帯電話からの発信を、インターネット上で電話転送し、被害者の電話に掛かってくる電話番号が『03又は06』等からはじまる全国の固定電話番号や『050』からはじまる電話番号で着信表示させるものをいう。

## 2 検挙状況

### (1) 特殊詐欺本犯

#### ア 検挙状況の推移 (H23~R2)



※ H23年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

#### イ 類型別の検挙状況

	R2年								R元年			
	件数				人員				件数		人員	
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	537	23.6%	+143	+36.3%	217	31.3%	-70	-24.4%	394	18.6%	287	35.3%
預貯金詐欺	264	11.6%	-398	-60.1%	143	20.6%	-90	-38.6%	662	31.2%	233	28.6%
架空料金請求詐欺	170	7.5%	-164	-49.1%	36	5.2%	-133	-78.7%	334	15.7%	169	20.8%
還付金詐欺	415	18.2%	+117	+39.3%	44	6.3%	+25	+131.6%	298	14.0%	19	2.3%
融資保証金詐欺	72	3.2%	+25	+53.2%	17	2.5%	+7	+70.0%	47	2.2%	10	1.2%
金融商品詐欺	8	0.4%	+4	+100.0%	12	1.7%	+9	+300.0%	4	0.2%	3	0.4%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	-4	-100.0%	1	0.1%	+1	—	4	0.2%	0	0.0%
交際あっせん詐欺	5	0.2%	+4	+400.0%	2	0.3%	+1	+100.0%	1	0.0%	1	0.1%
その他の特殊詐欺	2	0.1%	-10	-83.3%	0	0.0%	-8	-100.0%	12	0.6%	8	1.0%
キャッシュカード詐欺盗	801	35.2%	+434	+118.3%	221	31.9%	+137	+163.1%	367	17.3%	84	10.3%
<b>合計</b>	<b>2,274</b>	<b>100.0%</b>	<b>+151</b>	<b>+7.1%</b>	<b>693</b>	<b>100.0%</b>	<b>-121</b>	<b>-14.9%</b>	<b>2,123</b>	<b>100.0%</b>	<b>814</b>	<b>100.0%</b>

○ 前年と比べ、検挙件数は増加しているものの、検挙人員は減少している。

#### ウ 犯行拠点（アジト）摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R2年	11	32
R元年	23	104
前年比	-12	-72

## エ 年代別・男女別の検挙人員

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R2年	男性	104	342	111	53	13	6	0	0	0	629	90.8%
	割合	16.5%	54.4%	17.6%	8.4%	2.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	12	37	5	5	3	1	1	0	0	64	9.2%
	割合	18.8%	57.8%	7.8%	7.8%	4.7%	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	116	379	116	58	16	7	1	0	0	693	
	割合	16.7%	54.7%	16.7%	8.4%	2.3%	1.0%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	-44	-51	-18	-5	-5	+2	±0	±0	±0	-121	
増減率	-27.5%	-11.9%	-13.4%	-7.9%	-23.8%	+40.0%	±0.0%	-	-	-14.9%		
R元年	男性	143	400	122	60	16	5	0	0	0	746	91.6%
	割合	19.2%	53.6%	16.4%	8.0%	2.1%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	17	30	12	3	5	0	1	0	0	68	8.4%
	割合	25.0%	44.1%	17.6%	4.4%	7.4%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	160	430	134	63	21	5	1	0	0	814	
割合	19.7%	52.8%	16.5%	7.7%	2.6%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%		

- 検挙人員の男女別では、90.8%(629人)が男性で占めているが、前年と比べ、割合は減少している。
- 年代別の男女別では、10代から30代までの男性が557人で、男性全体の88.6%を占めている。
- 人数は少ないものの、女性は10代から70代までと幅広く、最も多い20代が57.8%(37人)となっている。
- 10代から30代の被疑者が、全体の88.2%(611人)を占め、60代以上の被疑者は1.2%(8人)となっている。
- 少年(10代)の被疑者は、前年と比べ、44人減少している。

## オ 少年・暴力団・外国人別の検挙人員

		検挙人員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R2年	男性	629	104	147	25
	女性	64	12	4	4
	合計	693	116	151	29
	前年比	-121	-44	-37	-19
	割合	100.0%	16.7%	21.8%	4.2%
R元年	男性	746	143	186	39
	女性	68	17	2	9
	合計	814	160	188	48
	割合	100.0%	19.7%	23.1%	5.9%

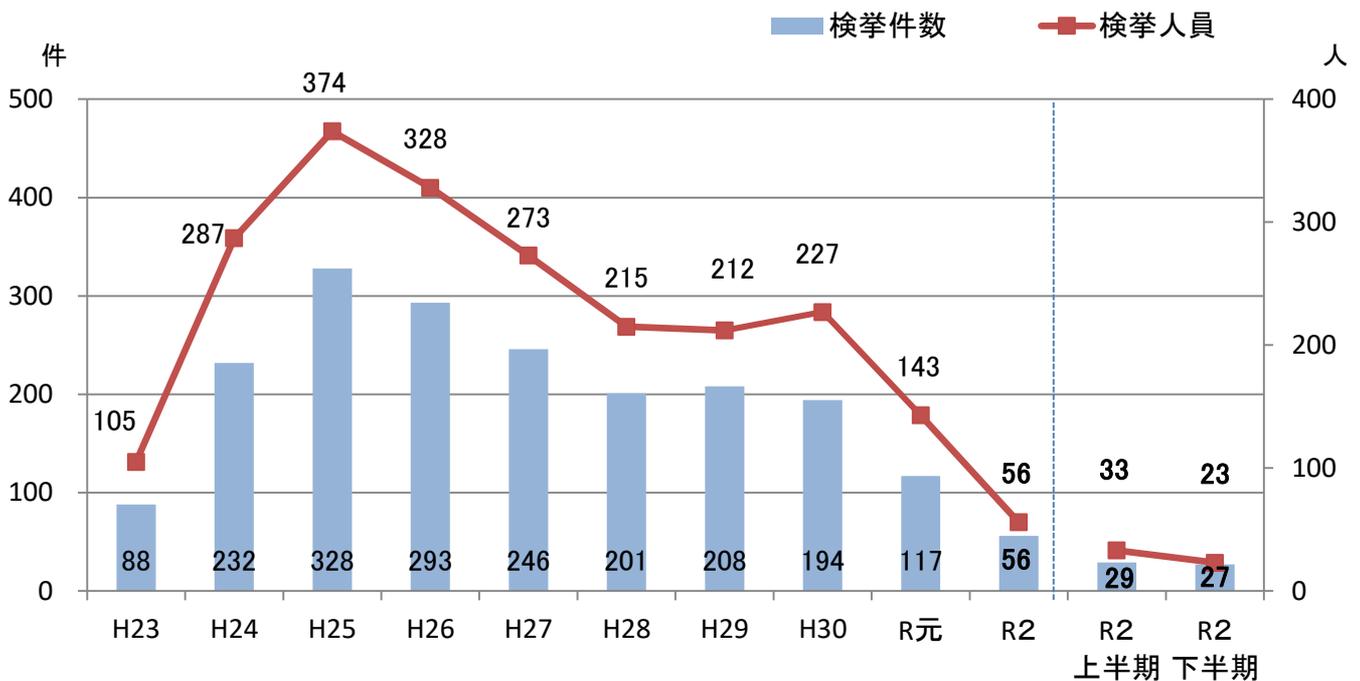
- 検挙人員のうち、少年16.7%(116人)、暴力団構成員等21.8%(151人)、外国人4.2%(29人)であり、前年と比べ、少年は44人、暴力団構成員等は37人、外国人は19人減少している。

## カ 役割別・男女別の検挙人員

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合計
R2年	男性	15	23	56	64	342	18	65	46	629
	女性	0	1	4	6	46	1	4	2	64
	合計	15	24	60	70	388	19	69	48	693
	前年比	-6	-1	-48	+36	-36	-2	-25	-39	-121
	割合	2.2%	3.5%	8.7%	10.1%	56.0%	2.7%	10.0%	6.9%	100.0%
R元年	男性	21	25	94	31	382	21	91	81	746
	女性	0	0	14	3	42	0	3	6	68
	合計	21	25	108	34	424	21	94	87	814
	割合	2.6%	3.1%	13.3%	4.2%	52.1%	2.6%	11.5%	10.7%	100.0%

- 受け子の検挙人員は、全体の56%(388人)を占めている。
- 受け子の男女別では、88.1%(342人)が男性で占めているものの、前年と比べ、割合は減少している。
- 受け子の女性は、前年と比べ9.5%(4人)増加している。
- 役割別のうち、出し子は前年と比べ、増加している。

## キ 現場設定(だまされた振り作戦)による検挙状況



- だまされた振り作戦による「現場設定検挙」は、前年と比べ、検挙件数は61件、検挙人員は87人減少している。

## (2) 特殊詐欺助長犯

### ア 類型別の検挙状況

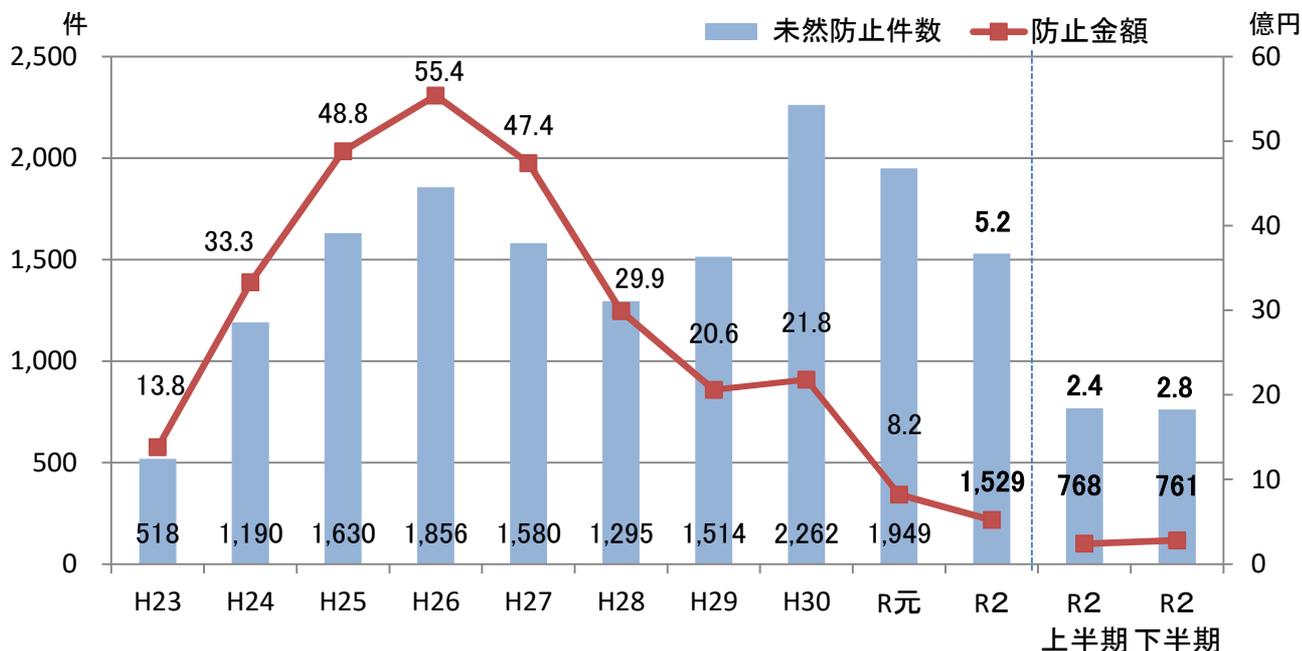
		口座開設詐欺	携帯電話 契約詐欺	犯罪収益移転 防止法違反	携帯電話不正 利用防止法違反	合 計
検 挙 件 数	R2年	84	62	379	4	529
	R元年	107	46	351	5	509
	前年比	-23	+16	+28	-1	+20
	増減率	-21.5%	34.8%	8.0%	-20.0%	3.9%
検 挙 人 員	R2年	50	40	334	3	427
	R元年	79	30	335	2	446
	前年比	-29	+10	-1	+1	-19
	増減率	-36.7%	33.3%	-0.3%	50.0%	-4.3%

○ 助長犯全体では、前年と比べ、検挙件数は増加しているものの、検挙人員は減少している。

### 3 未然防止等の状況

#### (1) 未然防止状況

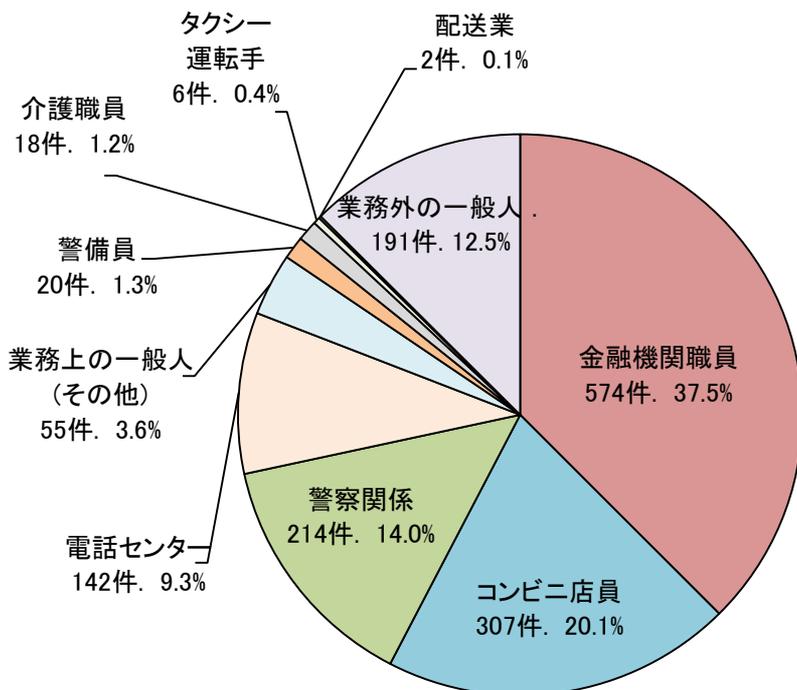
##### ア 未然防止の推移



○ 前年と比べ、未然防止件数は420件、防止金額は約3億円減少している。

##### イ 職種別の未然防止状況

【未然防止件数 1,529件】



	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務上の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R2年	574	214	142	307	20	18	6	2	55	191	1,529
割合	37.5%	14.0%	9.3%	20.1%	1.3%	1.2%	0.4%	0.1%	3.6%	12.5%	100.0%
前年比	-346	-218	+142	+110	-21	-7	-4	-2	-12	-62	-420
増減率	-37.6%	-50.5%	-	+55.8%	-51.2%	-28.0%	-40.0%	-50.0%	-17.9%	-24.5%	-21.5%
R元年	920	432	0	197	41	25	10	4	67	253	1,949

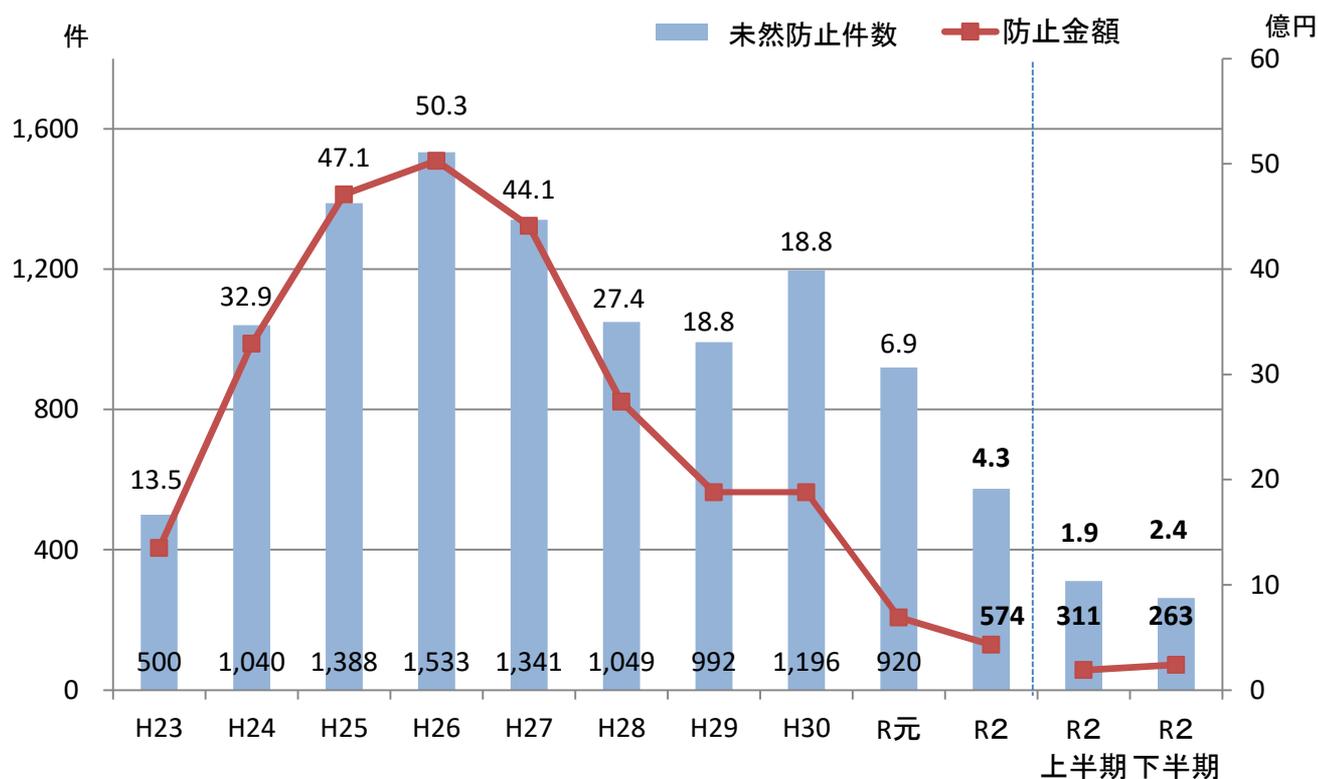
※ 本年から、「特殊詐欺被害防止対策電話センター(電話センター)」を計上

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す。

- 金融機関職員による未然防止が、全体の37.5%(574件)を占めている。
- コンビニ店員による未然防止が、前年に比べ、110件増加している。

## (2) 金融機関による未然防止状況

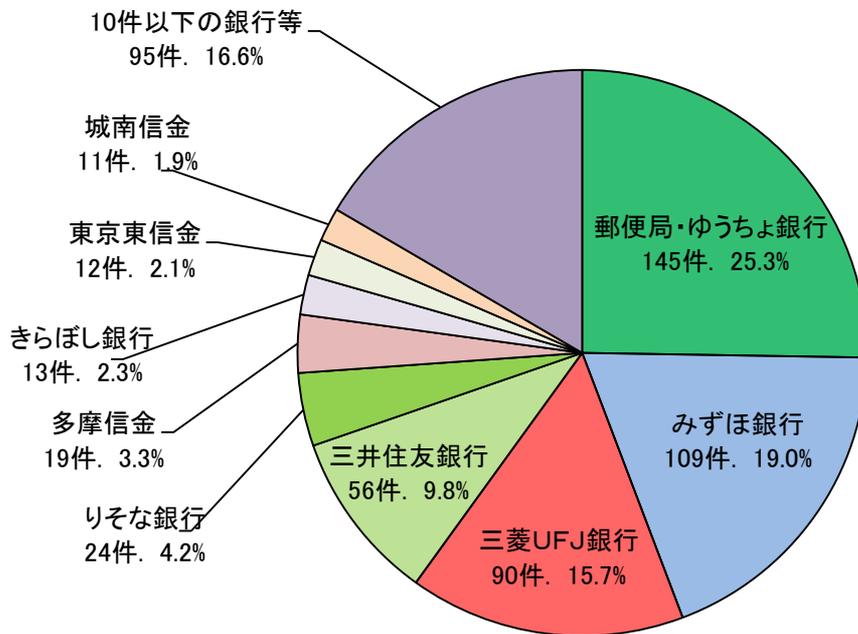
### ア 未然防止の推移



- 前年と比べ、未然防止件数は346件、防止金額は約2億6,000万円減少している。

## イ 金融機関別の未然防止状況

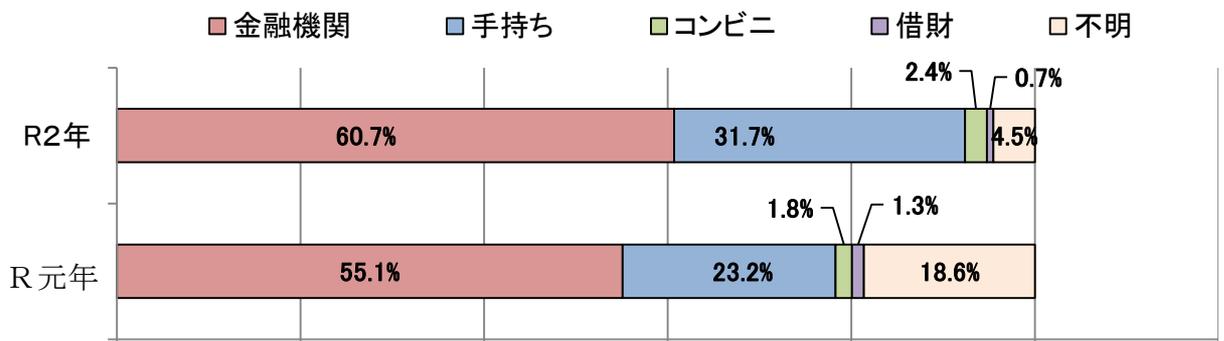
【未然防止件数 574件】



### (3) 被害金調達状況

#### ア 方法別の被害金調達回数

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R2年	599	24	7	313	44	987
割合	60.7%	2.4%	0.7%	31.7%	4.5%	100.0%
R元年	625	20	15	263	211	1,134
割合	55.1%	1.8%	1.3%	23.2%	18.6%	100.0%

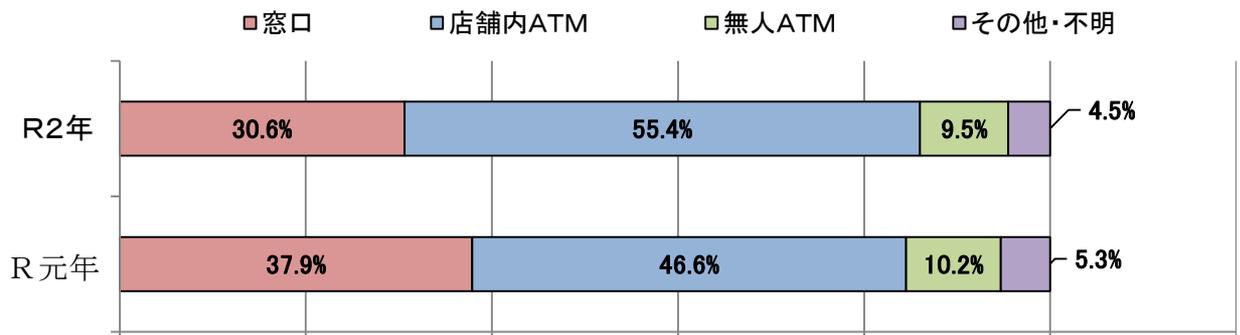


○ 被害金の調達回数は、前年と比べ、減少している。

## (4) 金融機関における被害金調達状況

### ア 方法別の被害金調達回数

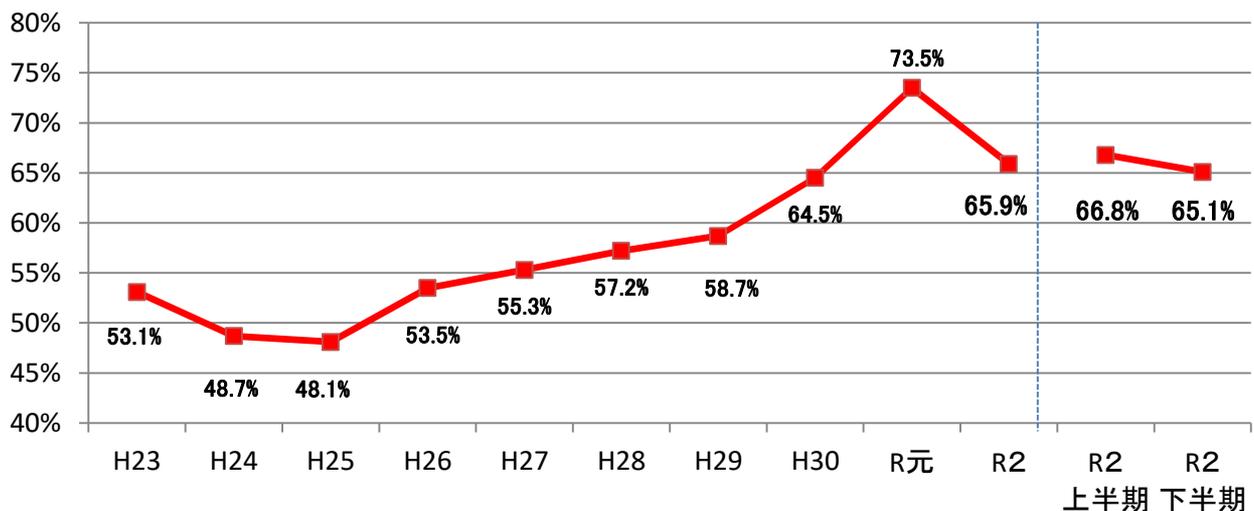
	窓口	A T M			その他不明	合計
		店舗内ATM	無人ATM	小計		
R2年	183	332	57	389	27	599
割合	30.6%	55.4%	9.5%	64.9%	4.5%	100.0%
R元年	237	291	64	355	33	625
割合	37.9%	46.6%	10.2%	56.8%	5.3%	100.0%



○ 店舗内、無人を問わず、A T Mでの調達の割合は全体の64.9%(389回)を占めている。

## (5) 金融機関窓口による阻止率

### ア 金融機関窓口における阻止率の推移



※阻止率=窓口での未然防止件数(354件)÷(窓口での未然防止件数(354件)+窓口での引き出し件数(183件))×100

#### 【現金調達時における「被疑者の指示」】

○ 「金融機関窓口」で、預貯金の引き出し又は定期預金等の解約をする理由

R2年では

- ・ 旅行費用として
- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 子供(孫)の結婚費用として
- ・ お墓を購入するため
- ・ 財産整理として自宅に保管しておきたい
- ・ 車を購入するため

の指示が大半を占め、前年とほぼ変わりはない。

## (6) 未然防止の好事例

### 1 携帯電話抑止装置を端緒とした未然防止

被害者（60代・女性）は区役所職員を騙ったアポ電に騙され、還付金を受け取ろうとATMに来所した。犯人から指定された電話番号に自己の携帯電話で連絡を取ろうとしたが、携帯電話抑止装置が設置されているATMであったため、電波が遮断され通話が不可能であった。困り果てた被害者はATMに設置してあるオートフォンをとり、「還付金を受け取りに来た」と説明したところ、応対したATMセンターの職員が詐欺と看破し、警察に通報し被害を未然に防止した。

### 2 金融機関職員による未然防止

防止者は、営業のため被害者宅を訪問したところ、いつもは玄関先でやり取りする被害者（70代・女性）からリビングにあがるように言われ、理由を聞いたところ、「息子が会社の大事な書類をなくした。部屋で電話が来るのを待っている」と話したため、詐欺と看破し、説得したものの聞き入れなかったため、警察に通報し、被害を未然に防止した。

### 3 警備員による未然防止

防止者は、警備員として老人ホームに勤務している者であるが、立番のため正門に向かっていたところ、ホーム入居者（被害女性・80代）とジャージ姿の若い男が立ち話をしているのを認めた。防止者は二人の距離感に違和感を感じたため、不審に思い声を掛けたところ、男は携帯電話を使用しながら逃げるように立ち去った。不安そうな被害者から話を聞くと甥を騙る詐欺と判明し、受け子に現金を渡す直前の状況でもあり被害を未然に防止した。

### 4 接骨院院長による未然防止

防止者は、自己の経営する接骨院にて被害者（80代・女性）の施術を行っていたが、世間話の中で被害者が「区役所から還付金がある。この後に受け取りに行く」との言動があった。防止者はすぐに詐欺と看破し、警察に連絡するよう説得し被害を未然に防止した。

### 5 知人による未然防止

防止者は、以前世話になった被害者宅に菓子折りを持って訪問した。応対した被害者（80代・女性）から「今、大事な電話がかかってくる」と言われたため、防止者は早めに切り上げようと思ったところ電話が鳴り、被害者が飛び付く様に出て通話を始めた。慌てる様子がおかしく、帰りの挨拶もあることから、念のため待っていたが、漏れ聞こえる通話内容が詐欺そのものであったため、被害者に「それは詐欺よ」と説明したものの、取り合ってもらえなかったため、警察に通報し被害を未然に防止した。